院内がん登録　集計報告書

2022年1月1日～12月31日

東北医科薬科大学病院
医療情報グループ

2024年4月

はじめに

この報告書は、愛媛県がん診療連携協議会がん登録専門部会で使用されているフォーマットを利用して作成されおります。

四国がんセンター様のご厚意により、集計表の雛形を東北がんネットワークがん登録専門委員会にご提供いただき、その雛形をもとに今回の集計を行いました。

フォーマットの使用を許可していただいた四国がんセンターの皆様に、心より御礼申し上げます。

院内がん登録について

院内がん登録は、病院で診断されたり、治療されたりしたすべての患者さんのがんについての情報を、診療科を問わず病院全体で集め、その病院のがん診療がどのように行われているかを明らかにする調査です。この調査を複数の病院が同じ方法で行うことで、その情報を比べることができるようになり、病院ごとの特徴や問題点が明らかになるものと期待されています。病院にかかったすべてのがん患者さんという幅広い対象に対して調査を行いますので、病院のがん診療の特徴がよくわかります。

出典：国立がん研究センター がん情報サービス＞院内がん登録とは

https://ganjoho.jp/reg stat/can reg/hospital/about.html

がん登録の対象について

入院、外来を問わず、当院へ当該がんの診断・治療等を目的に初診された患者さんが登録の対象となります。

悪性腫瘍であればすべて登録対象とする他、髄膜・脳・脊髄（中枢神経系）に発生した腫瘍については良性であっても登録対象です。また、GIST（消化管間質腫瘍）、境界悪性の卵巣腫瘍の一部も登録対象です。

登録方法について

院内がん登録を行っている全国の施設は、国立がん研究センターが提示する登録様式に準拠することとされており、当院においても、『がん診療連携拠点病院等　院内がん登録　標準登録様式　2016年版』に則り、登録を行っています。この他、腫瘍の局在および形態のコード化には『国際疾病分類－腫瘍学第3.2版』、がんのステージ分類には『UICC　TNM悪性腫瘍の分類　第8版』を採用しています。

集計対象について

今回の報告書では、2022年1月1日から同年12月31日までに当院でがんと診断、あるいは他院でがんと診断された後に治療等のため当院を初診された方を集計の対象といたしました。

引用元のデータについて

院内がん登録では、前年分の登録データを毎年夏頃に国立がん研究センターへ提出しています。

提出翌年に全国の集計結果をまとめた『がん診療連携拠点病院等院内がん登録全国集計報告書』が国立がん研究センターから発表されます。

今回の報告書の集計項目の中には、当院の登録件数と、宮城県・全国の登録件数を比較している箇所があります。ここに示した宮城県・全国の登録件数は、このがん診療連携拠点病院等院内がん登録全国集計報告書および院内がん登録全国集計結果閲覧システムの検索結果から引用しています。

引用元のデータおよび全国集計報告書は下記のリンクよりご参照ください。

国立がん研究センター　がん情報サービス

がん診療連携拠点病院等院内がん登録全国集計報告書

https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/brochure/hosp_c_registry.html

院内がん登録全国集計結果閲覧システム

https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbcrtables/

非公開の件数について

登録数が10件未満の項目について

国立がん研究センターより公表されている集計報告書において、

各集計表において、集計値が10 以下の場合、個人が特定される可能性が高い反面、患者、家族や国民に対して有用な診療情報を提供するため、厚生労働省の指示に基づき、第9 回がん診療提供体制のあり方に関する検討会資料として提出された「資料2少数例のがんの情報提供について」の資料に従って、1 件以上10 件未満の場合は、1～3 件、4～6 件、7～9 件として公表し、10 件以上は実数で公表する。

とされていることから、当院の報告書につきましても10件未満の集計値は実数での公表を行わないことといたします。

参考：厚生労働省　＞　第9回がん診療提供体制のあり方に関する検討会

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000168810.html

症例区分80の症例について

「症例区分」とは、がんの診断および初回治療の過程において、自施設でどのように関与したかを判断するための項目です。詳しくは次のページの【院内がん登録で使用される用語について】をご覧ください。

この症例区分の「80」は、当院で診断や治療を行わなかった症例となっています。例えば、他施設でがんと診断され、手術のため当院へ紹介されたが、手術は行わない方針となり、他施設で経過観察をしていくことになった、というような症例が該当します。

国立がん研究センターより公表されている集計報告書では、症例区分80を除いた件数を「集計対象数」として扱っているため、当院の報告書につきましても、症例区分80は除いた件数を掲載しております。

院内がん登録で使用される用語について

報告書内で使用されている院内がん登録に関する用語の説明をいたします。この説明文は、国立がん研究センターから公表されている『がん診療連携拠点病院等　院内がん登録　標準登録様式　2016年版』および『がん診療連携拠点病院等　院内がん登録全国集計報告書』を参考に作成しました。

国立がん研究センター　がん情報サービス　＞　院内がん登録全国集計
https://ganjoho.jp/public/qa_links/report/hosp_c/hosp_c_registry.html

症例区分

がんの診断および初回治療の過程において、自施設でどのように関与したかを判断するための項目です。全部で7項目に分かれます。

症例区分10：診断のみ

自施設で診断したが、治療の施行は他施設へ紹介・依頼した場合。

症例区分20：自施設診断・自施設初回治療開始

自施設で診断および初回治療に関する決定をし、腫瘍そのものへの治療を開始した場合。

症例区分21：自施設診断・自施設初回治療継続

自施設で診断した後、他施設で初回治療が開始され、その後、自施設で初回治療の一部を実施した場合。

症例区分30：他施設診断・自施設治療開始

他施設で診断された後、自施設を受診し、自施設で腫瘍そのものへの治療を開始した場合。

症例区分31：他施設診断・自施設初回治療継続

他施設で診断した後、他施設で初回治療の一部を実施した場合。

症例区分40：初回治療終了後

他施設で初回治療終了後に自施設を受診した場合。

症例区分80：その他

10～40のいずれにも分類できない場合。

他施設診断症例で、治療目的に紹介されたが、自施設では治療を行わず、他施設へ紹介した場合を含む。

来院経路

がんの診断・治療のため、患者さんがどのような経路を経て自施設を受診したのかを把握し、地域において自施設がどのような役割を担っているのかを、他の医療機関との関係から推察するための項目です。全部で5項目に分かれます。

来院経路10：自主的受診

患者さんが他施設の紹介等ではなく、当該腫瘍や関連症状に関して自主的に自施設を選択して初診した場合。

来院経路20：他施設からの紹介

他施設からの紹介で、初診した場合。

来院経路30：自施設での他疾患経過観察中

自施設で他疾患により経過観察中に、がんと診断あるいはがんが疑われた場合。

来院経路80：その他

10～30に当てはまらないもの。

来院経路99：不明

来院にいたる発端が不明の場合。

発見経緯

発見経緯は、来院経路とは異なり、がんと診断される発端となった状況を把握するための項目です。自施設、他施設問わず、がんに関して医療機関を初診した際の状況を判断しています。全部で5項目に分かれます。

発見経緯1：がん検診・健康診断・人間ドック

市区町村が実施する「がん検診」の他、老人健康診査や自主的に受診する健康診断、あるいは人間ドックでの結果により、医療機関を受診した場合。

発見経緯3：他疾患経過観察中の偶然発見

自施設、他施設を問わず、他の疾患で経過観察中に実施された検査などにより、偶然発見されたもの。

発見経緯4：剖検発見

死体解剖（剖検）ではじめて診断された場合。

発見経緯8：その他

1,3,4に当てはまらないもの。

発見経緯9：不明

診断にいたる発端が不明の場合。

外科的治療

肉眼的視野下の外科的手技による病巣切除術を外科的治療と分類しています。侵襲性の高い治療として位置づけられ、いわゆる観血的な手術療法のうち、光学機器による視野を用いた手術を除いたものを指し、肉眼的視野下での一般的な開頭術、開腹術や開胸術などがこれに当たります。

鏡視下治療

皮膚切開を加えるなど、自然開口部（口唇、鼻孔、尿道口、肛門、膣口、乳管等）以外から挿入された光学機器を用いて（光学機器の視野下で）行われる病巣切除術を鏡視下治療としています。

内視鏡治療

自然開口部（口唇、鼻孔、尿道口、肛門、膣口、乳管等）から挿入された光学機器による視野を用いた病巣の切除等の観血的治療が行われた場合を内視鏡治療としています。

膀胱癌のTUR-Bt、胃癌・大腸癌での粘膜下層剥離術ESDなど。

放射線療法

X線やγ線等の電磁放射線、あるいは陽電子線や重イオン線等の粒子放射線による腫瘍の縮小、消失あるいは腫瘍による症状の緩和を目的とした治療を放射線療法とします。

重粒子線・陽子線・中性子線などの荷電粒子線を利用した治療、イブリツモマブチウキセタンのように、分子標的薬と放射性同位元素の両方の作用を狙った治療I-131内容療法等の内照射療法、密封小線源による治療を含みます。

化学療法

アルキル化薬をはじめとする狭義の抗がん剤の他、分子標的薬などの薬剤を用いた、腫瘍の縮小あるいは消失を目的とした治療をその投与経路は問わず、化学療法とします。イブリツモマブチウキセタンのように、分子標的薬と放射性同位元素の両方の作用を狙った治療、肝動脈化学塞栓療法のような血管塞栓術も併用した抗がん剤投与も含みます。

内分泌療法

特定のホルモン分泌を抑制することで、腫瘍の増殖を阻止する目的で、薬剤投与あるいはホルモン分泌器官の切除により、腫瘍の縮小あるいは消失を目的とした治療を内分泌療法とします。前立腺癌における除睾術、ステロイド単剤での薬物療法も含みます。

その他の治療

がんの縮小・消失を目的に行われた治療のうち、外科的治療、内視鏡的治療、放射線療法、化学療法、内分泌療法のいずれかにも該当しない治療をその他の治療とします。例えば、免疫療法、肝動脈化学塞栓療法のような血管塞栓術、レーザー等による腫瘍そのものを焼灼する光線焼灼術や光線力学的治療、ラジオ波などの電子波を用いた腫瘍焼灼術、腫瘍病巣のエタノール等の壊死性薬物を注入するPEITなどです。

主要5部位（5大がん）

日本でのがん罹患、死亡の顕著な部位のことです。現時点での一般的な主要部位は胃、大腸、肝、肺、乳房の5つです。

UICC　TNM分類　ステージ

院内がん登録では国際比較のため、UICC（The Union for International Cancer Control：国際対がん連合）の定める病期分類方法に基づいてがんのステージ（病期）を登録しています。

このため、わが国の一般的な臨床現場で使用されている『癌取扱い規約』に基づくステージとは若干異なる部分があります。

がんのステージはUICCであっても取扱い規約であっても、基本的に、T－原発腫瘍の進展範囲、N－領域リンパ節への転移の有無と範囲、M－遠隔転移の有無、といった、TNM、3つの構成要素の評価により決定されています。

・治療前ステージ

治療前に得られた情報、すなわち身体所見、画像診断、内視鏡検査、生検などによって得られたエビデンスに基づくステージを『治療前ステージ』としています。

前医で治療が開始された後に当院で治療を行った症例については、正確な治療前のステージの情報が得られないため「不明」と登録します。

・術後病理学的ステージ

手術などで得られた情報を基に評価されるのが『術後病理学的ステージ』となります。

・総合ステージ

『総合ステージ』は、治療開始時点でのがんの状態をより正確に表しているとされる術後病理学的ステージを第一優先とし、術前治療が行われた術後病理学的ステージの適用外および術後病理学的ステージが不明の例、観血的治療を行っていない例では、治療前ステージを用いてがんの治療開始時点での病期を示す指標として総合ステージを算出しています。

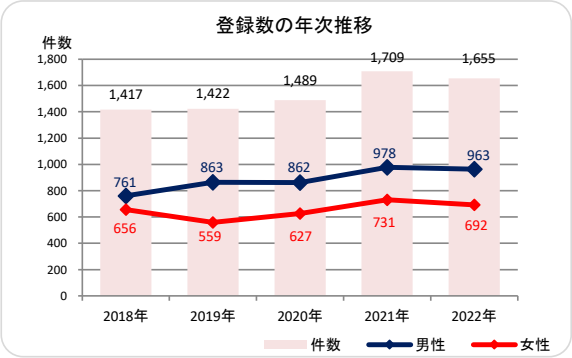
肝癌・肝内胆管癌のみ、UICC　TNM分類のほかに取扱い規約のステージを集計しています。

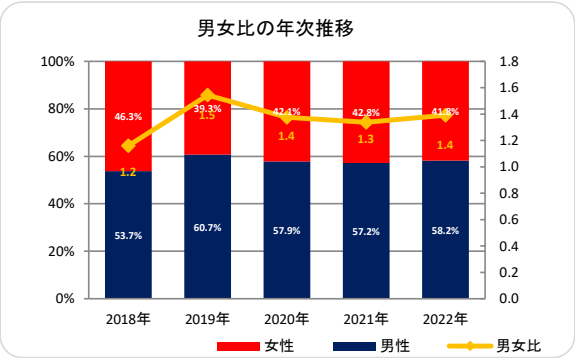
肝癌は、UICCと取扱い規約のステージの相違が他の臓器に比べ大きいことから、UICCと原発性肝癌取扱い規約、双方に基づいた分類を行うことが定められています。

1. 年次推移と部位別登録数①

1-1. 5年間の登録数の推移

診断年	2018年		2019年		2020年		2021年		2022年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
全体	1,417		1,422		1,489		1,709		1,655	
男性	761	(53.7%)	863	(60.7%)	862	(57.9%)	978	(57.2%)	963	(58.2%)
女性	656	(46.3%)	559	(39.3%)	627	(42.1%)	731	(42.8%)	692	(41.8%)





*男女比は女性を1としたときの男性の比率

1-2. 5年間の部位別登録数

診断年	2018年		2019年		2020年		2021年		2022年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
口腔・咽頭	7～9	--	1～3	--	1～3	--	7～9	--	7～9	--
咽頭	10	(0.7%)	13	(0.9%)	7～9	--	12	(0.7%)	7～9	--
唾液腺	7～9	--	1～3	--	1～3	--	1～3	--	1～3	--
食道	48	(3.4%)	36	(2.5%)	53	(3.6%)	59	(3.5%)	53	(3.2%)
胃	158	(11.2%)	171	(12.0%)	184	(12.4%)	212	(12.4%)	179	(10.8%)
小腸	1～3	--	4～6	--	7～9	--	7～9	--	4～6	--
大腸(結腸・直腸)	184	(13.0%)	227	(16.0%)	238	(16.0%)	282	(16.5%)	225	(13.6%)
-結腸	129	(9.1%)	155	(10.9%)	165	(11.1%)	194	(11.4%)	146	(8.8%)
-直腸	55	(3.9%)	72	(5.1%)	73	(4.9%)	88	(5.1%)	79	(4.8%)
肝臓	35	(2.5%)	37	(2.6%)	37	(2.5%)	42	(2.5%)	30	(1.8%)
胆嚢・胆管	29	(2.0%)	28	(2.0%)	32	(2.1%)	25	(1.5%)	25	(1.5%)
膵臓	65	(4.6%)	54	(3.8%)	71	(4.8%)	79	(4.6%)	67	(4.0%)
喉頭	10	(0.7%)	13	(0.9%)	7～9	--	10	(0.6%)	7～9	--
肺	238	(16.8%)	225	(15.8%)	233	(15.6%)	240	(14.0%)	248	(15.0%)
胸腺	4～6	--	7～9	--	4～6	--	13	(0.8%)	4～6	--
胸膜	1～3	--	1～3	--	4～6	--	1～3	--	1～3	--
骨・軟部	1～3	--	1～3	--	1～3	--	1～3	--	1～3	--
皮膚	14	(1.0%)	22	(1.5%)	28	(1.9%)	36	(2.1%)	35	(2.1%)
乳房	145	(10.2%)	105	(7.4%)	136	(9.1%)	164	(9.6%)	148	(8.9%)
子宮頸部	50	(3.5%)	35	(2.5%)	28	(1.9%)	39	(2.3%)	44	(2.7%)
子宮体部	36	(2.5%)	15	(1.1%)	20	(1.3%)	24	(1.4%)	15	(0.9%)
卵巣・卵管	26	(1.8%)	17	(1.2%)	12	(0.8%)	15	(0.9%)	16	(1.0%)
前立腺	109	(7.7%)	105	(7.4%)	82	(5.5%)	119	(7.0%)	147	(8.9%)
精巣	0	--	4～6	--	1～3	--	1～3	--	1～3	--
膀胱	40	(2.8%)	43	(3.0%)	59	(4.0%)	69	(4.0%)	61	(3.7%)
腎	48	(3.4%)	26	(1.8%)	33	(2.2%)	37	(2.2%)	48	(2.9%)
腎盂・尿管	15	(1.1%)	18	(1.3%)	18	(1.2%)	16	(0.9%)	25	(1.5%)
脳・中枢神経系	48	(3.4%)	38	(2.7%)	45	(3.0%)	46	(2.7%)	90	(5.4%)
甲状腺	4～6	--	7～9	--	13	(0.9%)	11	(0.6%)	14	(0.8%)
悪性リンパ腫	41	(2.9%)	82	(5.8%)	55	(3.7%)	52	(3.0%)	63	(3.8%)
多発性骨髄腫	1～3	--	21	(1.5%)	4～6	--	7～9	--	10	(0.6%)
白血病	4～6	--	25	(1.8%)	17	(1.1%)	15	(0.9%)	15	(0.9%)
その他の造血器腫瘍	7～9	--	15	(1.1%)	19	(1.3%)	31	(1.8%)	24	(1.5%)
その他	26	(1.8%)	17	(1.2%)	27	(1.9%)	27	(1.9%)	30	(2.1%)
合計	1,417		1,422		1,489		1,709		1,655	

1. 年次推移と部位別登録数②

1-3.　2022年　部位別総合ステージ別 （ステージ不明を除く）

総合ステージ	0期		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
口腔・咽頭	0	--	0	--	0	--	1～3	--	1～3	--
咽頭	0	--	0	--	0	--	0	--	1～3	--
唾液腺	0	--	0	--	0	--	0	--	1～3	--
食道	1～3	--	22	(44.9%)	4～6	--	4～6	--	14	(28.6%)
胃	0	--	132	(77.6%)	7～9	--	4～6	--	26	(15.3%)
小腸	1～3	--	4～6	--	0	--	1～3	--	0	--
大腸(結腸・直腸)	40	(20.1%)	55	(27.6%)	26	(13.1%)	37	(18.6%)	41	(20.6%)
-結腸	25	(19.2%)	36	(27.7%)	21	(16.2%)	19	(14.6%)	29	(22.3%)
-直腸	15	(21.7%)	19	(27.5%)	4～6	--	18	(26.1%)	12	(17.4%)
肝臓	0	--	7～9	--	4～6	--	4～6	--	4～6	--
胆嚢・胆管	1～3	--	1～3	--	1～3	--	4～6	--	4～6	--
膵臓	4～6	--	13	(22.0%)	4～6	--	12	(20.3%)	25	(42.4%)
喉頭	0	--	4～6	--	1～3	--	0	--	1～3	--
肺	1～3	--	108	(45.4%)	21	(8.8%)	46	(19.3%)	62	(26.1%)
胸腺	0	--	4～6	--	1～3	--	0	--	0	--
胸膜	0	--	0	--	0	--	1～3	--	0	--
骨・軟部	0	--	0	--	0	--	0	--	0	--
皮膚	1～3	--	23	(71.9%)	4～6	--	1～3	--	0	--
乳房	14	(11.6%)	59	(48.8%)	30	(24.8%)	16	(13.2%)	1～3	--
子宮頸部	26	(60.5%)	11	(25.6%)	1～3	--	4～6	--	1～3	--
子宮体部	0	--	11	(84.6%)	0	--	1～3	--	1～3	--
卵巣・卵管	0	--	4～6	--	0	--	4～6	--	1～3	--
前立腺	0	--	47	(37.3%)	32	(25.4%)	14	(11.1%)	33	(26.2%)
精巣	0	--	1～3	--	0	--	0	--	0	--
膀胱	35	(64.8%)	4～6	--	7～9	--	4～6	--	1～3	--
腎	0	--	36	(81.8%)	1～3	--	1～3	--	1～3	--
腎盂・尿管	4～6	--	1～3	--	1～3	--	1～3	--	4～6	--
甲状腺	0	--	1～3	--	4～6	--	1～3	--	1～3	--
悪性リンパ腫	0	--	10	(17.9%)	7～9	--	10	(17.9%)	27	(48.2%)

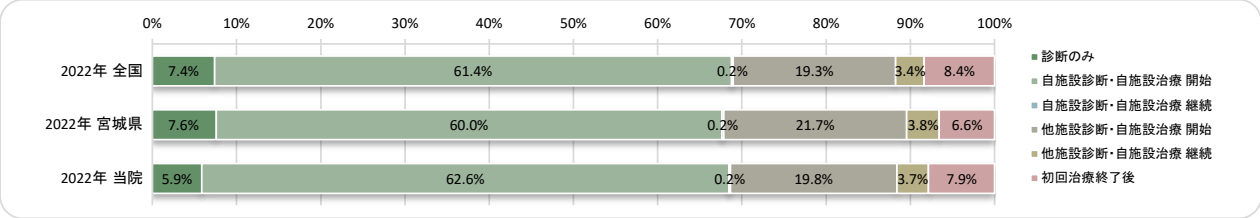
*パーセントは、その部位のステージ不明を除いた登録数に占める割合です。

2. 症例区分①

2-1. 症例区分

	2020年		2021年		2022年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
診断のみ	85	(5.7%)	83	(4.9%)	97	(5.9%)
自施設診断・自施設治療 開始	943	(63.3%)	1,140	(66.7%)	1,036	(62.6%)
自施設診断・自施設治療 継続	1～3	--	0	--	1～3	--
他施設診断・自施設治療 開始	295	(19.8%)	305	(17.8%)	327	(19.8%)
他施設診断・自施設治療 継続	80	(5.4%)	57	(3.3%)	62	(3.7%)
初回治療終了	85	(5.7%)	124	(7.3%)	130	(7.9%)

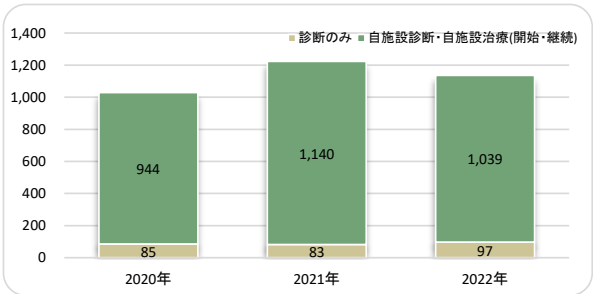
2-2. 症例区分 全国・宮城県全体との比較



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「院内がん登録全国集計」https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbcrtables/

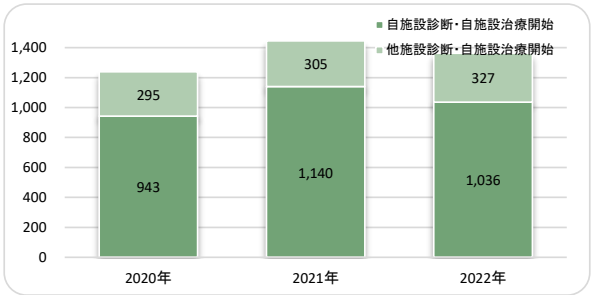
2-3. 自施設でがんと診断した症例の年次推移

（診断のみ、自施設診断・自施設治療開始、自施設診断・自施設治療継続）



2-4. 自施設初回治療開始症例の年次推移

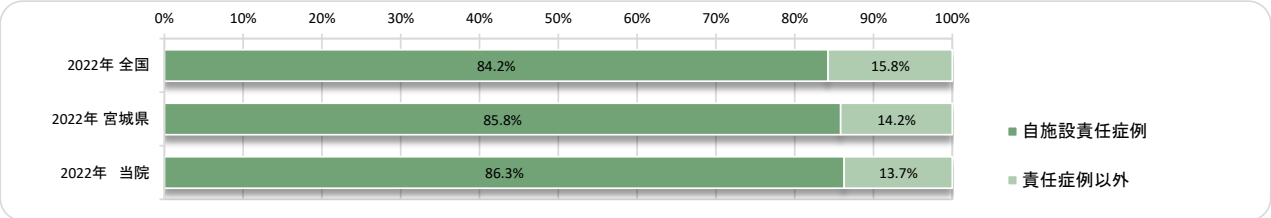
（自施設診断・自施設治療開始、他施設診断・自施設治療開始）



2-5. 2022年 症例区分の診断施設・治療施設マトリクス

治療施設＼診断施設	自施設診断 （当該腫瘍について"がん"と診断された最も確かと考えられる検査が自施設初診後に行われた症例）	他施設診断 （当該腫瘍について"がん"と診断された最も確かと考えられる検査が自施設初診前にすでに行われていた症例）
自施設で初回治療せず	＜診断のみ＞ 97	＜その他＞ 0
自施設で初回治療開始	＜自施設診断・自施設治療開始＞ 1,036	＜他施設診断・自施設治療開始＞ 327
初回治療継続	＜自施設診断・自施設治療継続＞ 1～3	＜他施設診断・自施設治療継続＞ 62
初回治療終了後	＜初回治療終了後＞ 0	＜初回治療終了後＞、＜その他＞ 130

2-6. 2022年 自施設責任症例の割合の比較



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「院内がん登録全国集計」https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbcrtables/

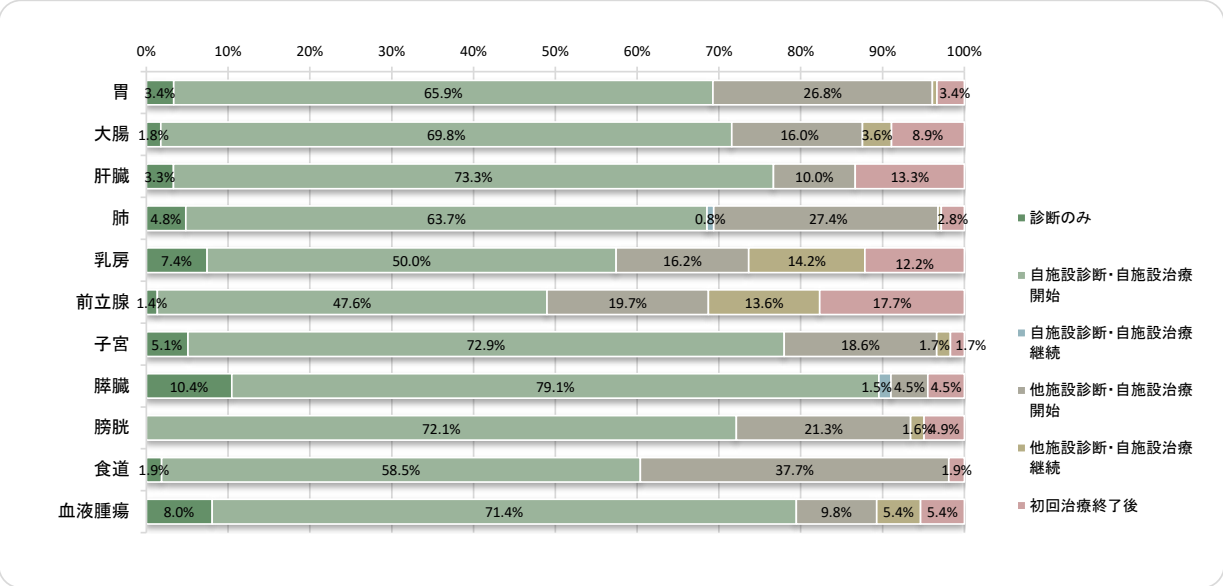
2. 症例区分②

2-7. 2022年 症例区分 部位別

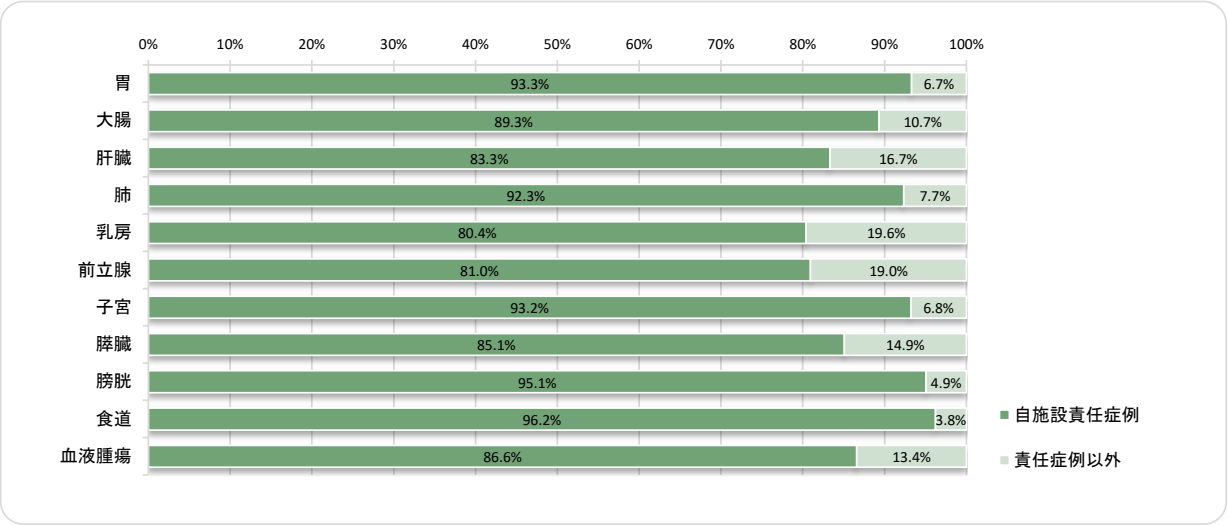
	胃		大腸		肝臓		肺		乳房	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
診断のみ	4～6	--	4～6	--	1～3	--	12	(4.8%)	11	(7.4%)
自施設診断・自施設治療 開始	118	(65.9%)	157	(69.8%)	22	(73.3%)	158	(63.7%)	74	(50.0%)
自施設診断・自施設治療 継続	0	--	0	--	0	--	1～3	--	0	--
他施設診断・自施設治療 開始	48	(26.8%)	36	(16.0%)	1～3	--	68	(27.4%)	24	(16.2%)
他施設診断・自施設治療 継続	1～3	--	7～9	--	0	--	1～3	--	21	(14.2%)
初回治療終了後	4～6	--	20	(8.9%)	4～6	--	7～9	--	18	(12.2%)

	前立腺		子宮		膵臓		膀胱		食道		血液腫瘍	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
診断のみ	1～3	--	1～3	--	7～9	--	0	--	1～3	--	7～9	--
自施設診断・自施設治療 開始	70	(47.6%)	43	(72.9%)	53	(79.1%)	44	(72.1%)	31	(58.5%)	80	(71.4%)
自施設診断・自施設治療 継続	0	--	0	--	1～3	--	0	--	0	--	0	--
他施設診断・自施設治療 開始	29	(19.7%)	11	(18.6%)	1～3	--	13	(21.3%)	20	(37.7%)	11	(9.8%)
他施設診断・自施設治療 継続	20	(13.6%)	1～3	--	0	--	1～3	--	0	--	4～6	--
初回治療終了後	26	(17.7%)	1～3	--	1～3	--	1～3	--	1～3	--	4～6	--

2-8. 2022年 症例区分 部位別の割合



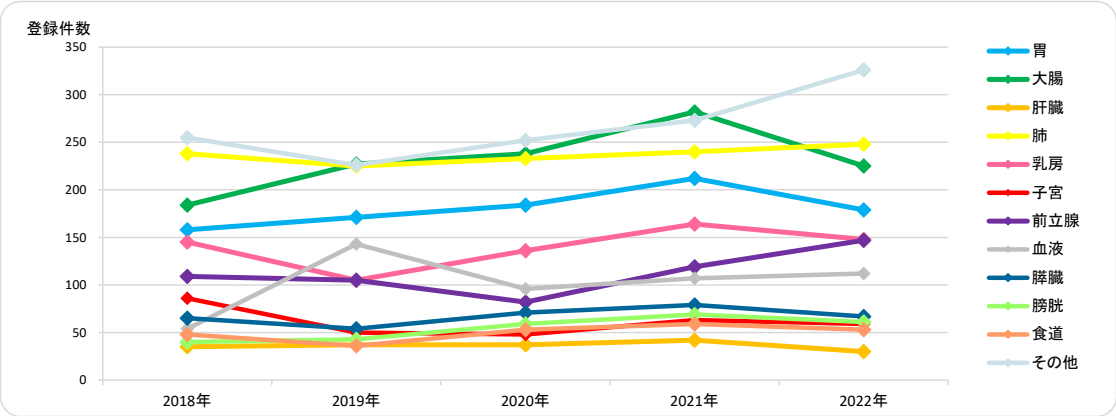
2-9. 2022年 症例区分 部位別責任症例の割合



当院でがんに対する初回治療を開始するか、他院から初回治療を引き継いだ症例を「自施設責任症例」としています。
2-5の赤い点線で囲まれた部分が「自施設責任症例」に該当します。
2-6では、全国および宮城県における自施設責任症例の割合と、当院の自施設責任症例の割合を比較しています。
2-7、2-8では、部位ごとの症例区分の割合を示しています。
2-9では、当院の自施設責任症例の割合を部位ごとに示しています。

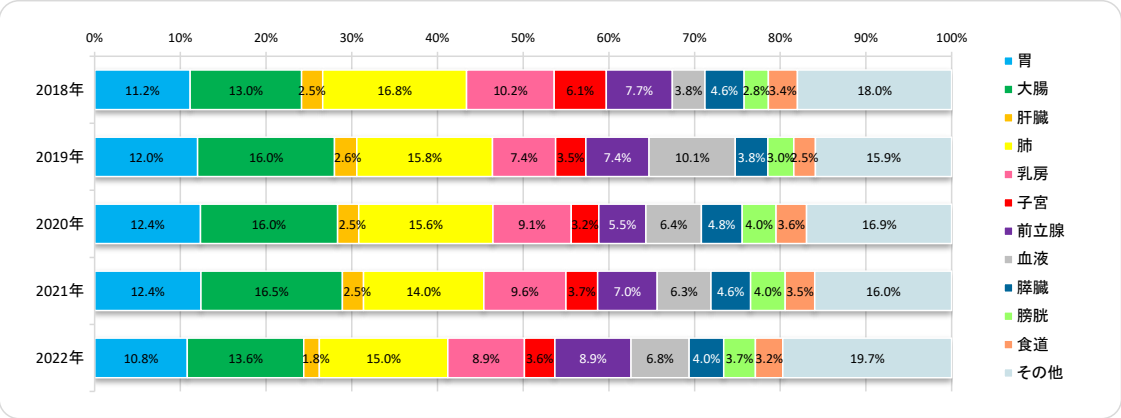
3. 登録件数の推移

3-1. 部位別登録件数の推移



*「血液」には、悪性リンパ腫・多発性骨髄腫・白血病・その他の血液腫瘍が含まれます。

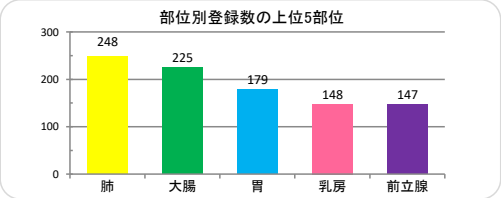
3-2. 部位別の割合



*「血液」には、悪性リンパ腫・多発性骨髄腫・白血病・その他の血液腫瘍が含まれます。

3-3. 部位別登録数の上位5部位

	2021年		2022年	
順位	部位名	件数	部位名	件数
1	大腸	282	肺	248
2	肺	240	大腸	225
3	胃	212	胃	179
4	乳房	164	乳房	148
5	前立腺	119	前立腺	147



4. 診断時住所別

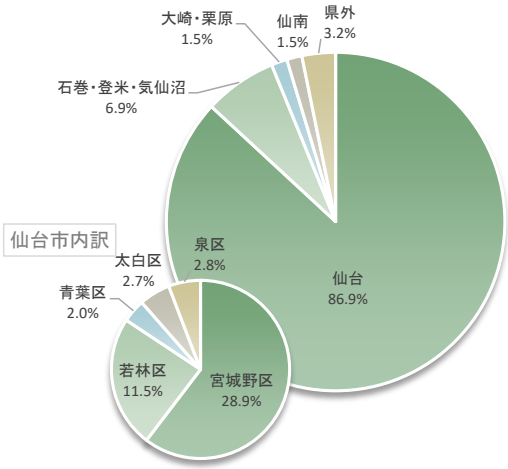
4-1.　2022年　診断時住所別

二次医療圏	登録数 件数	登録割合 (%)	市郡・県外	登録数 件数
仙台	1,438	(86.9%)	仙台市	689
			塩竈市	198
			名取市	11
			多賀城市	267
			岩沼市	19
			富谷市	7～9
			亘理郡	22
			宮城郡	214
			黒川郡	10
石巻・登米・気仙沼	115	(6.9%)	石巻市	38
			気仙沼市	28
			登米市	14
			東松島市	35
			牡鹿郡	0
			本吉郡	0
大崎・栗原	25	(1.5%)	栗原市	7～9
			大崎市	12
			加美郡	1～3
			遠田郡	1～3
仙南	24	(1.5%)	白石市	7～9
			角田市	1～3
			刈田郡	7～9
			柴田郡	4～6
			伊具郡	0
県外	53	(3.2%)		53

患者さんが当院を初診された際の住所別に件数を集計し、宮城県の二次医療圏ごとにまとめています。

仙台医療圏からの受診が最も多く、次いで、石巻・登米・気仙沼医療圏となっています。

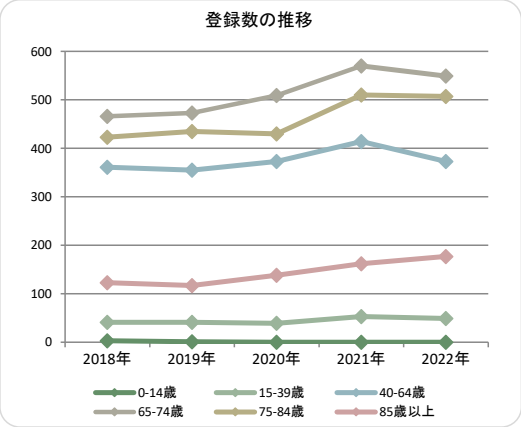
仙台市のみの集計では、宮城野区からの受診が最も多く、次いで、若林区となっています。

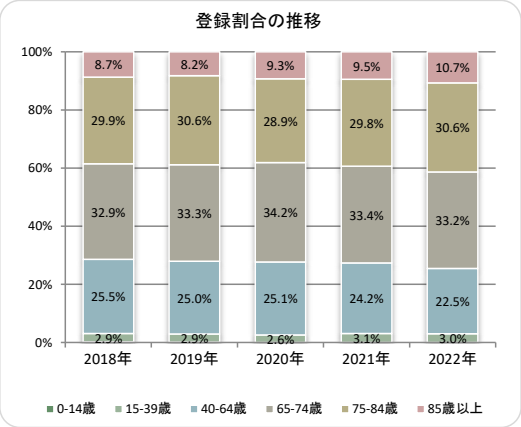


5. 年齢の割合①

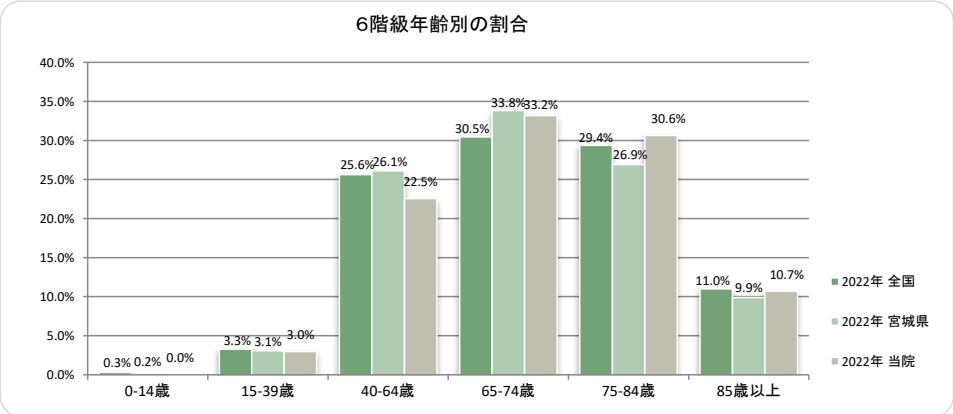
5-1. 年齢6階級別登録数の年次推移

診断年	2018年		2019年		2020年		2021年		2022年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
0-14歳	1～3	--	1～3	--	0	--	0	--	0	--
15-39歳	41	(2.9%)	41	(2.9%)	39	(2.6%)	53	(3.1%)	49	(3.0%)
40-64歳	361	(25.5%)	355	(25.0%)	373	(25.1%)	414	(24.2%)	373	(22.5%)
65-74歳	466	(32.9%)	473	(33.3%)	509	(34.2%)	570	(33.4%)	549	(33.2%)
75-84歳	423	(29.9%)	435	(30.6%)	430	(28.9%)	510	(29.8%)	507	(30.6%)
85歳以上	123	(8.7%)	117	(8.2%)	138	(9.3%)	162	(9.5%)	177	(10.7%)





5-2. 2022年 年齢6階級別登録数 宮城県全体・全国値との比較

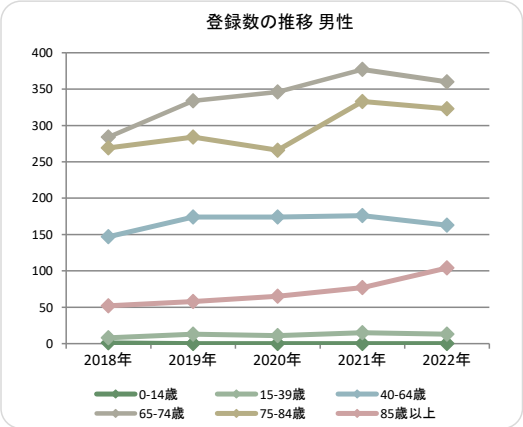


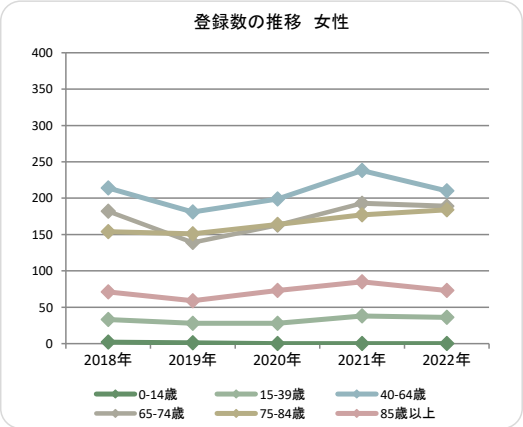
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「院内がん登録全国集計」https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbcrtables/

5. 年齢の割合②

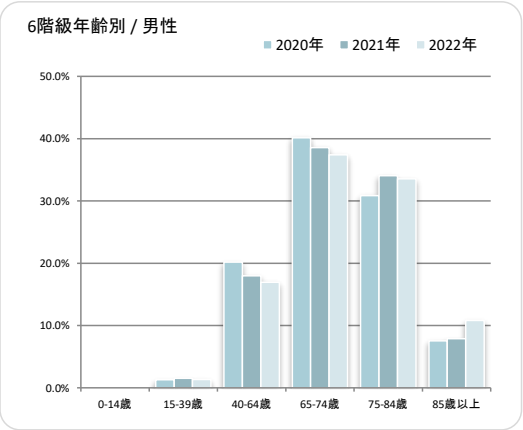
5-3. 男女別　年齢6階級別登録数の年次推移

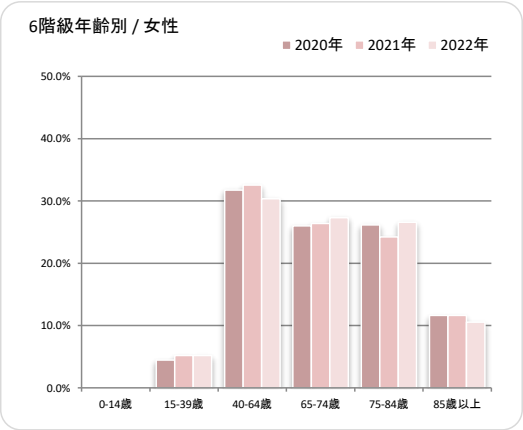
診断年	2018年		2019年		2020年		2021年		2022年	
男性	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
0-14歳	1～3	--	0	--	0	--	0	--	0	--
15-39歳	7～9	--	13	(1.5%)	11	(1.3%)	15	(1.5%)	13	(1.3%)
40-64歳	147	(19.3%)	174	(20.2%)	174	(20.2%)	176	(18.0%)	163	(16.9%)
65-74歳	284	(37.3%)	334	(38.7%)	346	(40.1%)	377	(38.5%)	360	(37.4%)
75-84歳	269	(35.3%)	284	(32.9%)	266	(30.9%)	333	(34.0%)	323	(33.5%)
85歳以上	52	(6.8%)	58	(6.7%)	65	(7.5%)	77	(7.9%)	104	(10.8%)
女性	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
0-14歳	1～3	--	1～3	--	0	--	0	--	0	--
15-39歳	33	(5.0%)	28	(5.0%)	28	(4.5%)	38	(5.2%)	36	(5.2%)
40-64歳	214	(32.6%)	181	(32.4%)	199	(31.7%)	238	(32.6%)	210	(30.3%)
65-74歳	182	(27.7%)	139	(24.9%)	163	(26.0%)	193	(26.4%)	189	(27.3%)
75-84歳	154	(23.5%)	151	(27.0%)	164	(26.2%)	177	(24.2%)	184	(26.6%)
85歳以上	71	(10.8%)	59	(10.6%)	73	(11.6%)	85	(11.6%)	73	(10.5%)





5-4. 男女別　年齢6階級別登録数　当院の過去3年間の推移



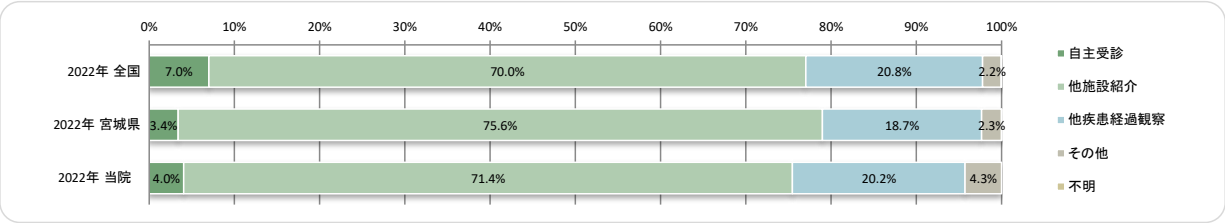


6. 来院経路

6-1. 来院経路

	2020年		2021年		2022年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
自主受診	63	(4.2%)	62	(3.6%)	67	(4.0%)
他施設紹介	1,016	(68.2%)	1,165	(68.2%)	1,182	(71.4%)
他疾患経過観察中	370	(24.8%)	418	(24.5%)	335	(20.2%)
その他	40	(2.7%)	64	(3.7%)	71	(4.3%)
不明	0	--	0	--	0	--

6-2. 2022年 来院経路ー宮城県全体・全国値との比較

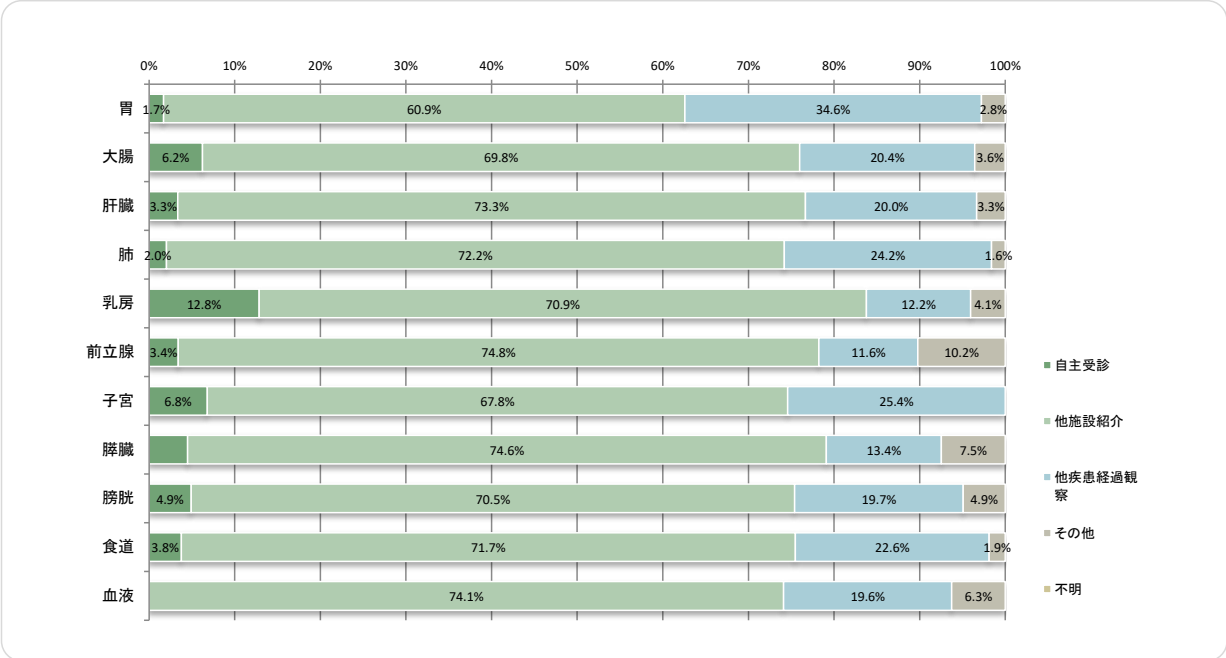


出典：国立がん研究センターがん情報サービス「院内がん登録全国集計」https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbcrtables/

6-3. 2022年 来院経路 部位別

	胃		大腸		肝臓		肺		乳房	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
自主受診	1～3	--	14	(6.2%)	1～3	--	4～6	--	19	(12.8%)
他施設紹介	109	(60.9%)	157	(69.8%)	22	(73.3%)	179	(72.2%)	105	(70.9%)
他疾患経過観察中	62	(34.6%)	46	(20.4%)	4～6	--	60	(24.2%)	18	(12.2%)
その他	4～6	--	7～9	--	1～3	--	4～6	--	4～6	--
不明	0	--	0	--	0	--	0	--	0	--

	前立腺		子宮		膵臓		膀胱		食道		血液	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
自主受診	4～6	--	4～6	--	1～3	--	1～3	--	1～3	--	0	--
他施設紹介	110	(74.8%)	40	(67.8%)	50	(74.6%)	43	(70.5%)	38	(71.7%)	83	(74.1%)
他疾患経過観察中	17	(11.6%)	15	(25.4%)	7～9	--	12	(19.7%)	12	(22.6%)	22	(19.6%)
その他	15	(10.2%)	0	--	4～6	--	1～3	--	1～3	--	7～9	--
不明	0	--	0	--	0	--	0	--	0	--	0	--



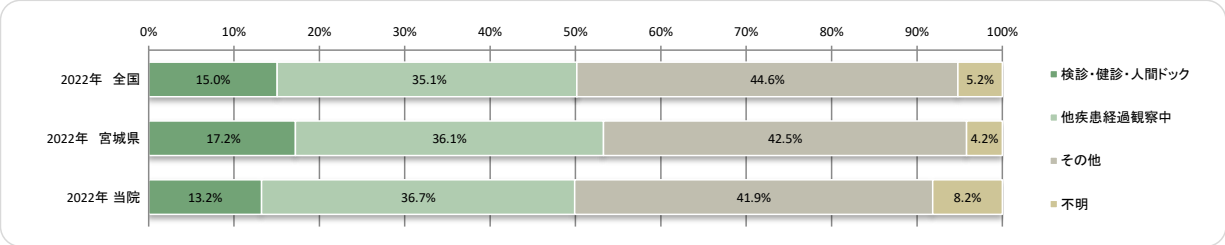
7. 発見経緯

7-1. 発見経緯

	2020年		2021年		2022年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
検診・健診・人間ドック	175	(11.8%)	251	(14.7%)	219	(13.2%)
他疾患経過観察中	624	(41.9%)	683	(40.0%)	607	(36.7%)
その他	602	(40.4%)	650	(38.0%)	694	(41.9%)
不明	88	(5.9%)	125	(7.3%)	135	(8.2%)

*「検診」はがん検診、「健診」は健康診断を表します。

7-2. 2022年 発見経緯ー宮城県全体・全国値との比較

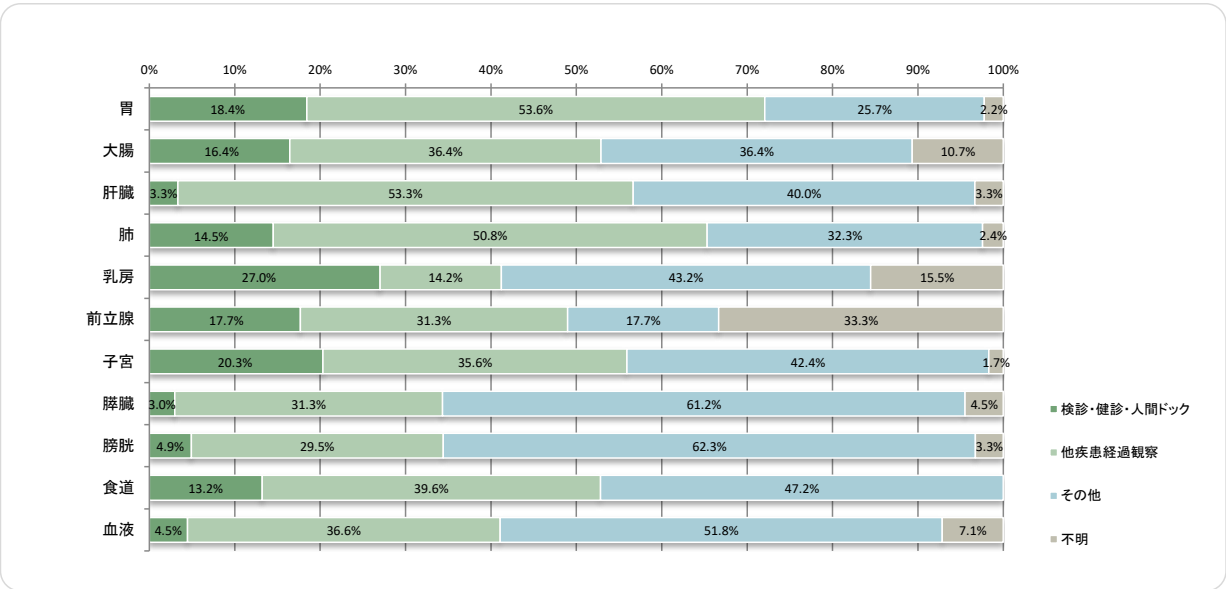


出典：国立がん研究センターがん情報サービス「院内がん登録全国集計」https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbcrtables/

7-3. 2022年 発見経緯 部位別

	胃		大腸		肝臓		肺		乳房	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
検診・健診・人間ドック	33	(18.4%)	37	(16.4%)	1～3	--	36	(14.5%)	40	(27.0%)
他疾患経過観察中	96	(53.6%)	82	(36.4%)	16	(53.3%)	126	(50.8%)	21	(14.2%)
その他	46	(25.7%)	82	(36.4%)	12	(40.0%)	80	(32.3%)	64	(43.2%)
不明	4～6	--	24	(36.4%)	1～3	--	4～6	--	0	(15.5%)

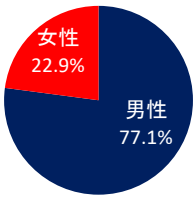
	前立腺		子宮		膵臓		膀胱		食道		血液	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
検診・健診・人間ドック	26	(17.7%)	12	(20.3%)	1～3	--	1～3	--	7～9	--	4～6	--
他疾患経過観察中	46	(31.3%)	21	(35.6%)	21	(31.3%)	18	(29.5%)	21	(39.6%)	41	(36.6%)
その他	26	(17.7%)	25	(42.4%)	41	(61.2%)	38	(62.3%)	25	(47.2%)	58	(51.8%)
不明	49	(33.3%)	1～3	--	1～3	--	1～3	--	0	--	7～9	--



8-1. 部位別：胃①

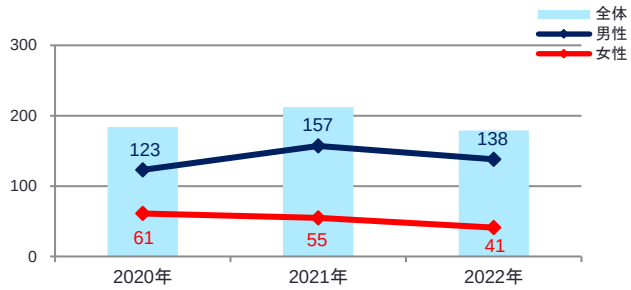
1. 登録数と男女割合

	登録数
男性	138
女性	41



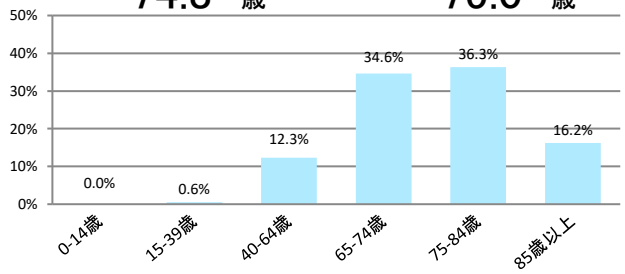
当院全登録数に占める胃癌の割合　10.8%

2. 登録数の年次推移



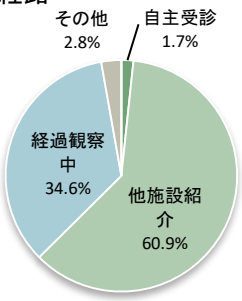
3. 年齢

平均 74.8 歳　中央値 75.0 歳

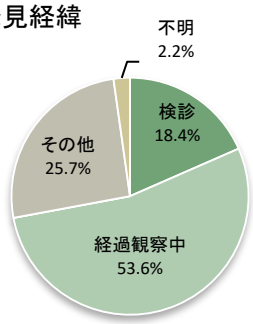


4. 来院経路と発見経緯

来院経路

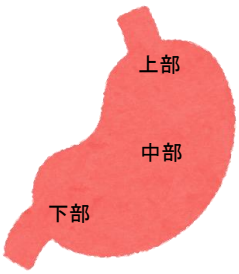


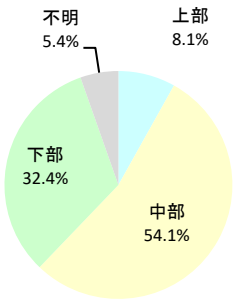
発見経緯



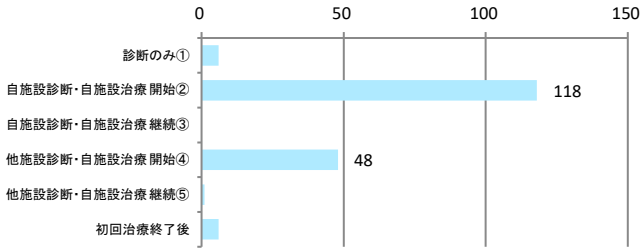
5. 詳細部位別登録数

局在コード	部　位　名	登録数	局在コード	部　位　名	登録数
C16.0	噴門	13	C16.5	胃小彎	0
C16.1	胃底部	1～3	C16.6	胃大彎	0
C16.2	胃体部	100	C16.8	胃の境界部	0
C16.3	胃前庭部	58	C16.9	胃（詳細不明）	10
C16.4	幽門	1～3			





6. 症例区分



	登録数	割合
自施設責任症例 （自施設で初回治療が実施された症例） ②+③+④+⑤	167	93.3%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	124	69.3%

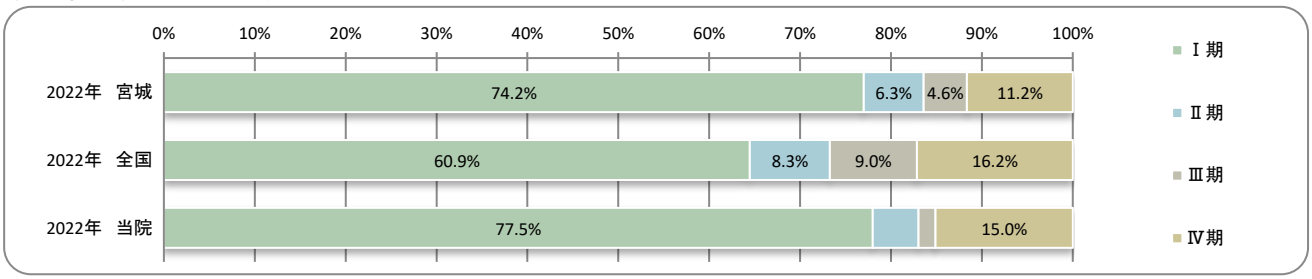
8-1. 部位別：胃②

7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 ＜症例区分20･30（自施設初回治療施行症例）、癌腫のみ＞

2022年	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
件数	124	7～9	1～3	24
割合	77.5%	--	--	15.0%

*ステージ不明除く

宮城県・全国の値との比較



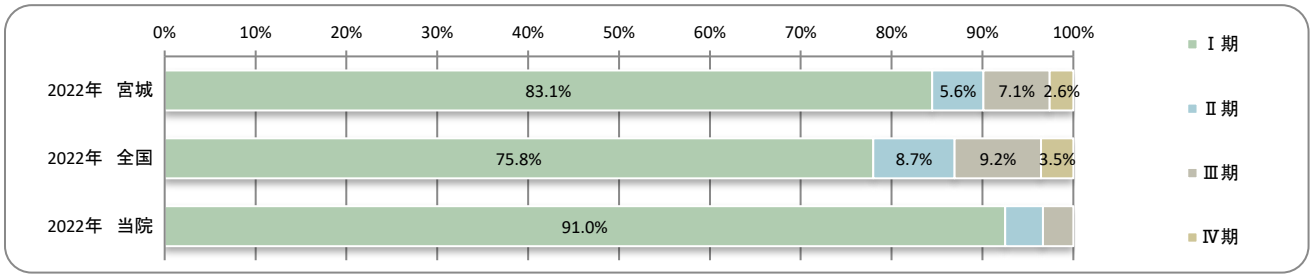
*件数が10件以下のステージの割合は、非表示としています。

8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 ＜症例区分20･30（自施設初回治療施行症例）、癌腫のみ、手術なし除く＞

2022年	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	術前治療後
件数	111	4～6	4～6	0	1～3
割合	0.0%	--	--	0.0%	--

*ステージ不明除く

宮城県・全国の値との比較



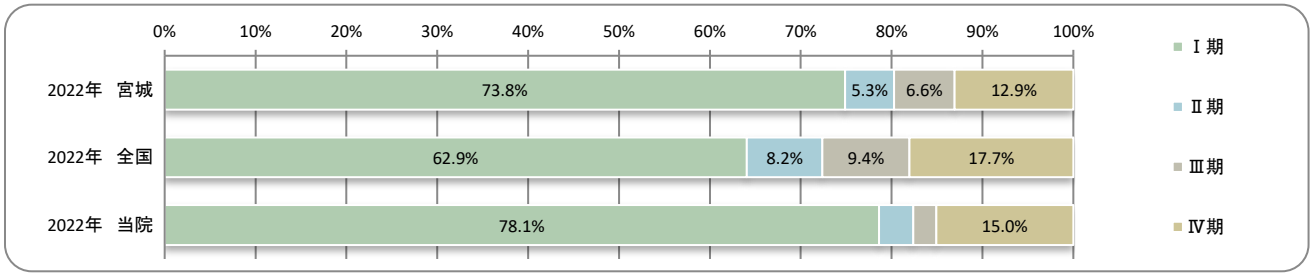
*件数が10件以下のステージの割合は、非表示としています。

9. UICC TNM 総合ステージ ＜症例区分20･30（自施設初回治療施行症例）、癌腫のみ＞

2022年	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
件数	125	4～6	4～6	24
割合	78.1%	--	--	15.0%

*ステージ不明除く

宮城県・全国の値との比較

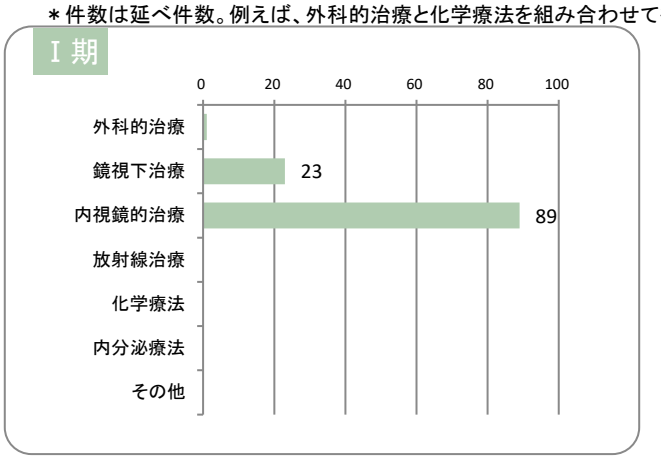


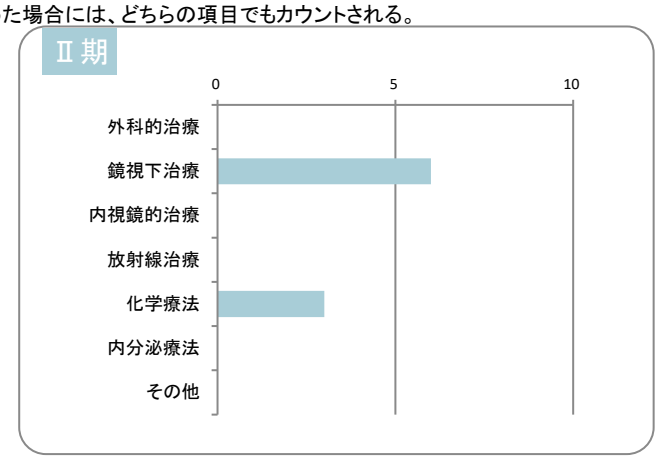
*件数が10件以下のステージの割合は、非表示としています。

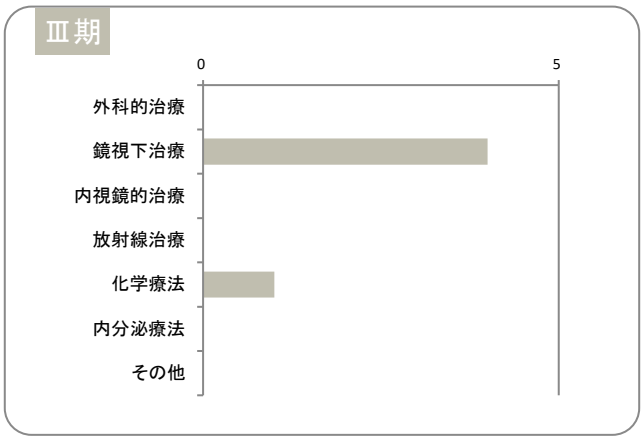
8-1. 部位別：胃③

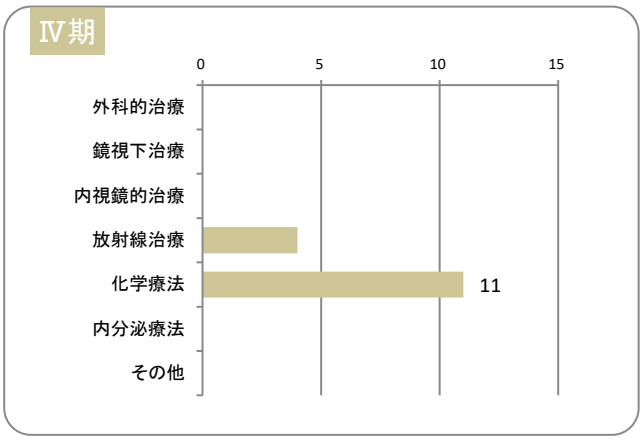
10. UICC TNM総合ステージ別 治療の件数 ＜症例区分20･30（自施設初回治療施行症例）、癌腫のみ＞

＊件数は延べ件数。例えば、外科的治療と化学療法を組み合わせて行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。









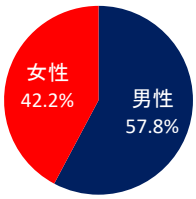
2022年	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
手術のみ	22	1～3	1～3	0
内視鏡のみ	87	0	0	0
手術+内視鏡	1～3	0	0	0
放射線のみ	0	0	0	1～3
薬物療法のみ	0	0	0	7～9
放射線+薬物	0	0	0	1～3
薬物+その他	0	0	0	0
手術/内視鏡+放射線	0	0	0	0
手術/内視鏡+薬物	0	1～3	1～3	0
手術/内視鏡+その他	0	0	0	0
手術/内視鏡+放射線+薬物	0	0	0	0
その他の組合せ	0	0	0	0
治療なし	14	0	0	12

＊当院で施行された治療のみの集計です。当院を受診される前後に他施設で行われた手術や化学療法はカウントされていません。

8-2. 部位別：大腸①

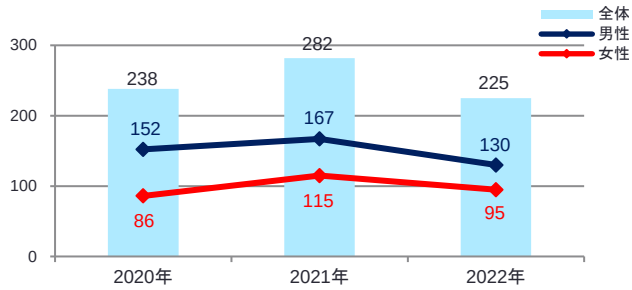
1. 登録数と男女割合

	登録数
男性	130
女性	95



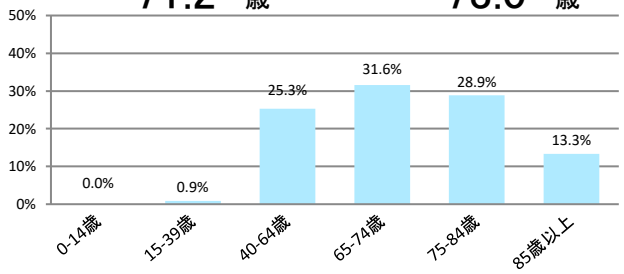
当院全登録数に占める大腸癌の割合　13.6%

2. 登録数の年次推移



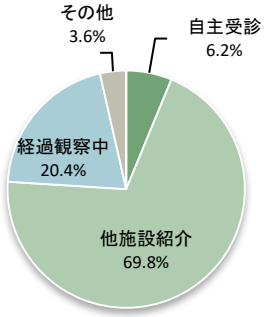
3. 年齢

平均 71.2 歳　中央値 73.0 歳

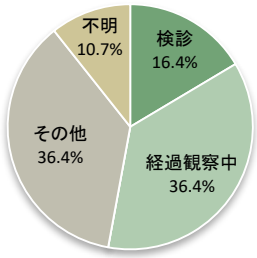


4. 来院経路と発見経緯

来院経路

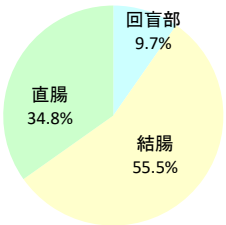


発見経緯

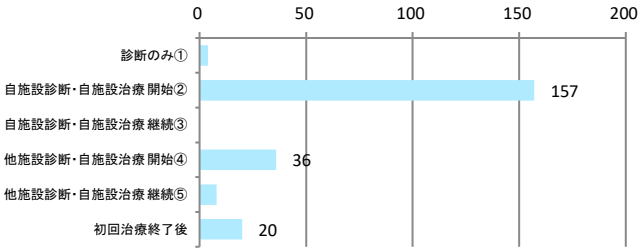


5. 詳細部位別登録数

局在コード	部　位　名	登録数	局在コード	部　位　名	登録数
C18.0	盲腸	15	C19.9	直腸S状結腸	28
C18.1	虫垂	7～9	C20.9	直腸	51
C18.2	上行結腸	39			
C18.3	右結腸曲	0			
C18.4	横行結腸	27			
C18.5	左結腸曲	1～3			
C18.6	下行結腸	10			
C18.7	S状結腸	48			
C18.8	境界部病巣	0			
C18.9	結腸（詳細不明）	1～3			



6. 症例区分



	登録数	割合
自施設責任症例 （自施設で初回治療が実施された症例） ②+③+④+⑤	201	89.3%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	161	71.6%

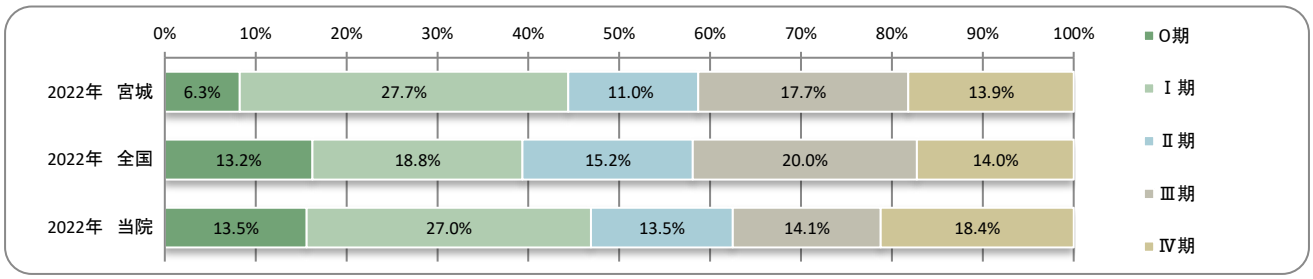
8-2. 部位別：大腸②

7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 ＜症例区分20・30（初回治療施行症例）、癌腫のみ＞

2022年	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
件数	25	50	25	26	34
割合	13.5%	27.0%	13.5%	14.1%	18.4%

*ステージ不明除く

宮城県・全国の値との比較



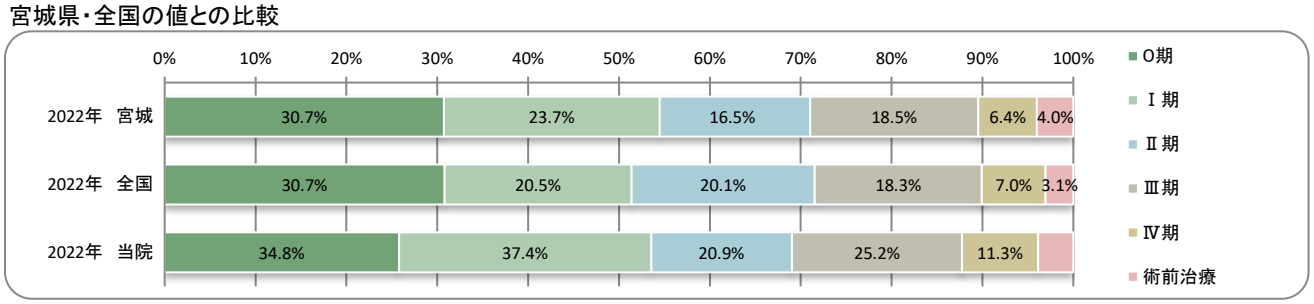
*件数が10件以下のステージの割合は、非表示としています。

8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 ＜症例区分20・30（初回治療施行症例）、癌腫のみ、手術なし除く＞

2022年	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	術前治療後
件数	40	43	24	29	13	4～6
割合	34.8%	37.4%	20.9%	25.2%	11.3%	--

*ステージ不明除く

宮城県・全国の値との比較



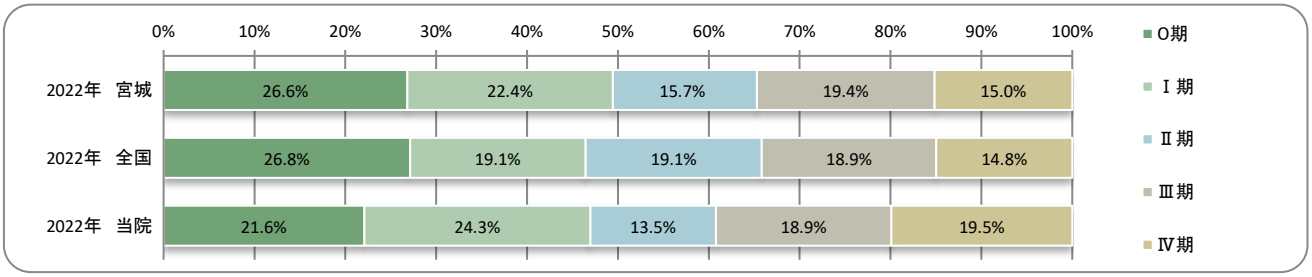
*件数が10件以下のステージの割合は、非表示としています。

9. UICC TNM 総合ステージ ＜症例区分20・30（自施設初回治療施行症例）、癌腫のみ＞

2022年	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
件数	40	45	25	35	36
割合	21.6%	24.3%	13.5%	18.9%	19.5%

*ステージ不明除く

宮城県・全国の値との比較

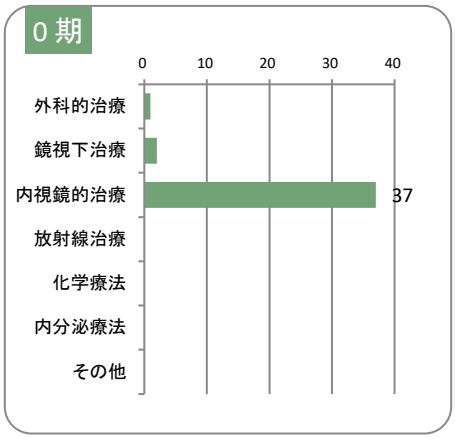


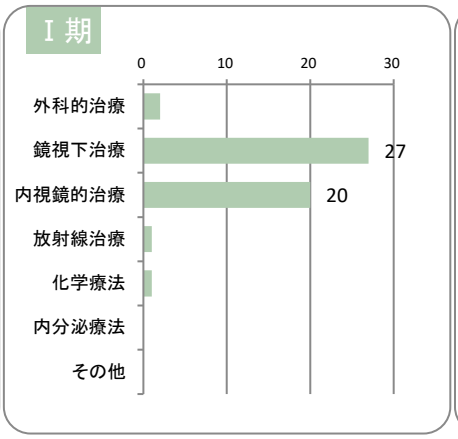
*件数が10件以下のステージの割合は、非表示としています。

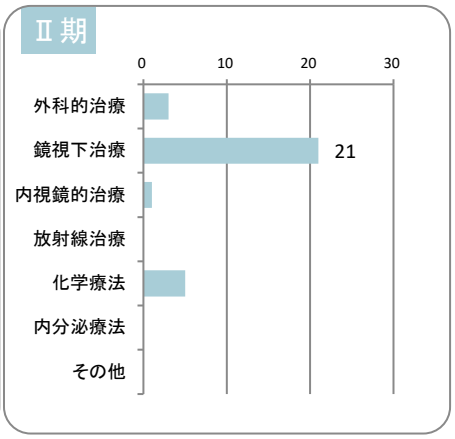
8-2. 部位別：大腸③

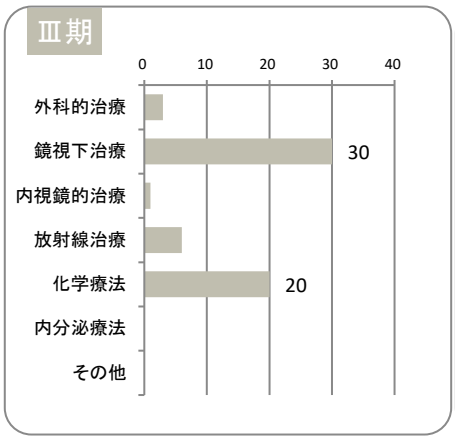
10. UICC TNM総合ステージ別 治療の件数 ＜症例区分20･30（自施設初回治療施行症例）、癌腫のみ＞

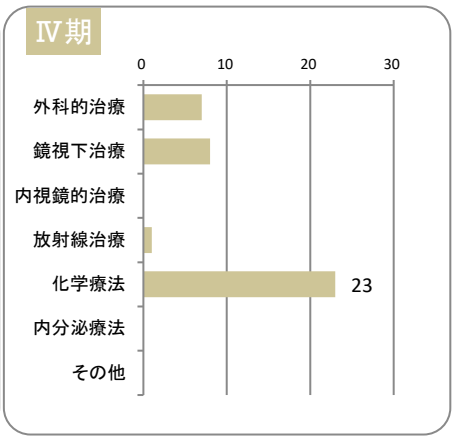
＊件数は延べ件数。例えば、外科的治療と化学療法を組み合わせて行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。











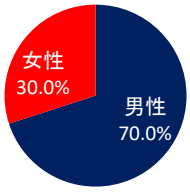
2022年	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
手術のみ	1～3	23	19	15	4～6
内視鏡のみ	37	14	0	0	0
手術+内視鏡	0	4～6	0	0	0
放射線のみ	0	0	0	0	1～3
薬物療法のみ	0	0	0	0	12
放射線+薬物	0	1～3	0	1～3	0
薬物+その他	0	0	0	0	0
手術/内視鏡+放射線	0	0	0	0	0
手術/内視鏡+薬物	0	0	4～6	14	11
手術/内視鏡+その他	0	0	0	0	0
手術/内視鏡+放射線+薬物	0	0	0	4～6	0
その他の組合せ	0	0	0	0	0
治療なし	0	1～3	1～3	0	7～9

＊当院で施行された治療のみの集計です。当院を受診される前後に他施設で行われた手術や化学療法はカウントされていません。

8-3. 部位別：肝臓①

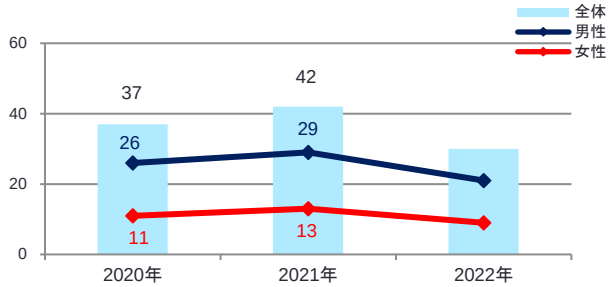
1. 登録数と男女割合

	登録数
男性	21
女性	7～9



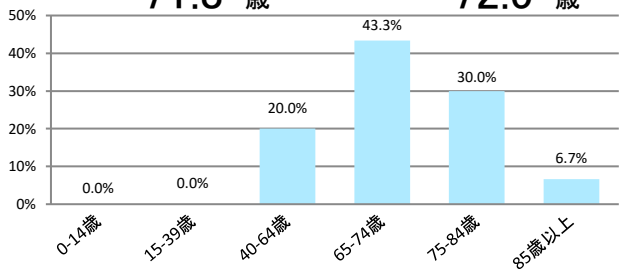
当院全登録数に占める肝癌の割合　1.8%

2. 登録数の年次推移



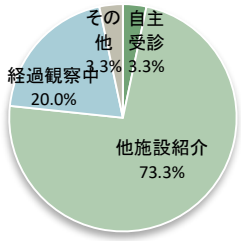
3. 年齢

平均 71.8 歳　中央値 72.5 歳

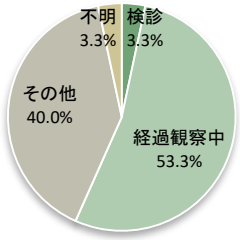


4. 来院経路と発見経緯

来院経路



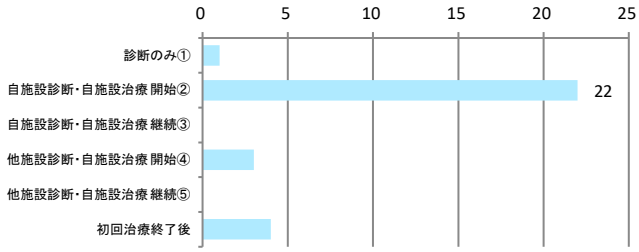
発見経緯



5. 詳細部位別登録数

局在コード	部　位　名	登録数
C220	肝	23
C221	肝内胆管	7～9

6. 症例区分



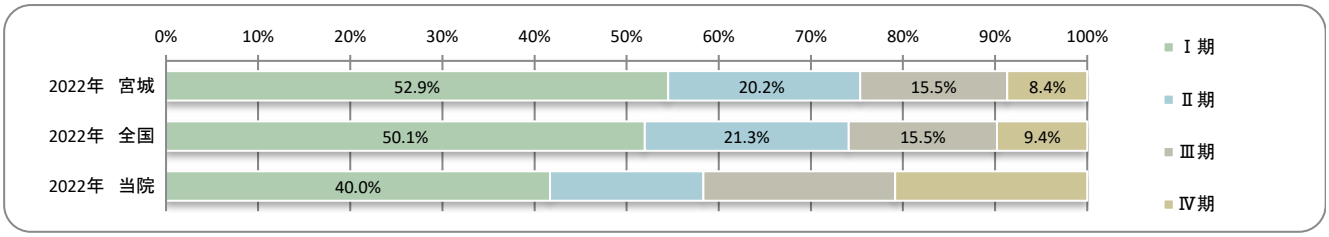
	登録数	割合
自施設責任症例 （自施設で初回治療が実施された症例） ②+③+④+⑤	25	83.3%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	23	76.7%

8-3. 部位別：肝臓②

7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 ＜症例区分20･30（初回治療施行症例）、癌腫のみ＞

2022年	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
件数	10	4～6	4～6	4～6
割合	40.0%	--	--	--

*ステージ不明除く

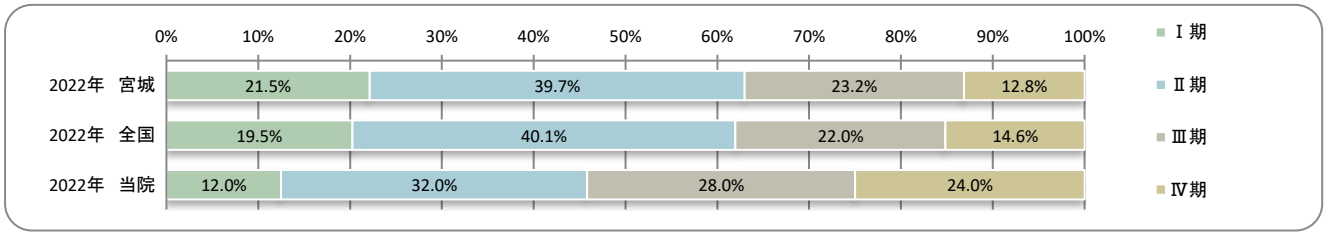


*件数が10件以下のステージの割合は、非表示としています。

8. 取扱い規約分類 治療前ステージ別登録 ＜症例区分20･30（初回治療施行症例）、癌腫のみ＞

2022年	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
件数	1～3	7～9	7～9	4～6
割合	--	--	--	--

*ステージ不明除く

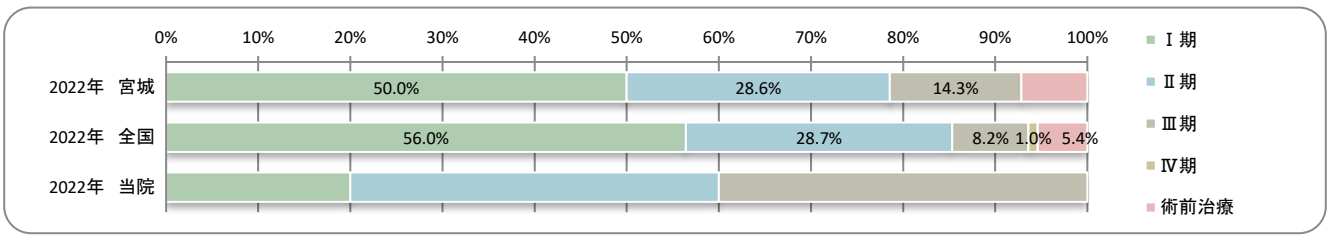


*件数が10件以下のステージの割合は、非表示としています。

9. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 ＜症例区分20･30（初回治療施行症例）、癌腫のみ、手術なし除く＞

2022年	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	術前治療後
件数	1～3	1～3	1～3	0	0
割合	--	--	--	0.0%	0.0%

*ステージ不明除く

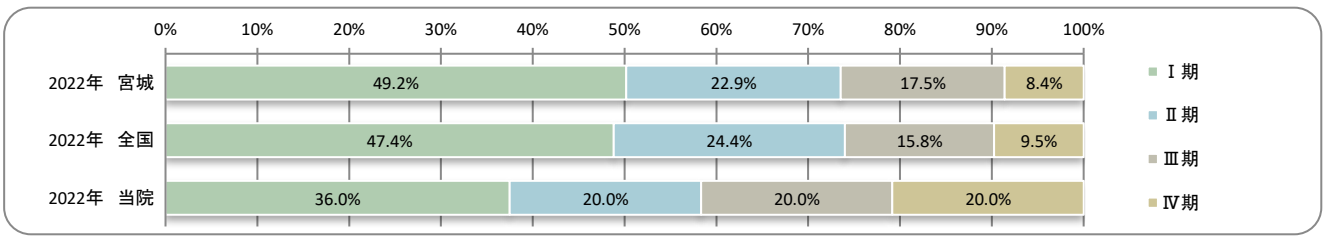


*件数が10件以下のステージの割合は、非表示としています。

10. UICC TNM 総合ステージ ＜症例区分20･30（初回治療施行症例）、癌腫のみ＞

2022年	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
件数	7～9	4～6	4～6	4～6
割合	--	--	--	--

*ステージ不明除く

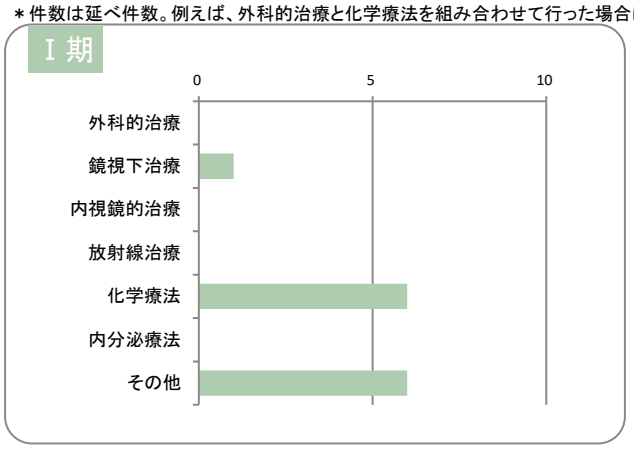


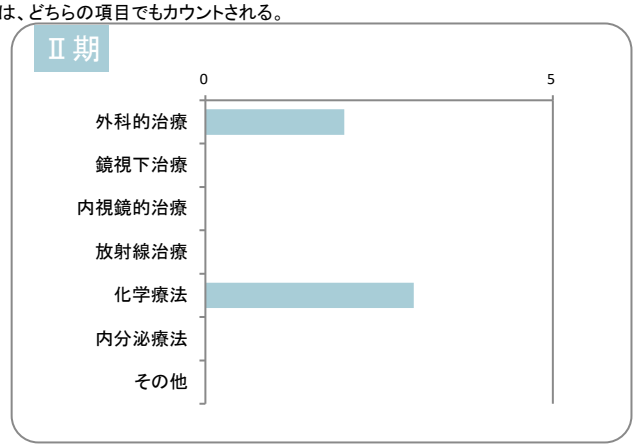
*件数が10件以下のステージの割合は、非表示としています。

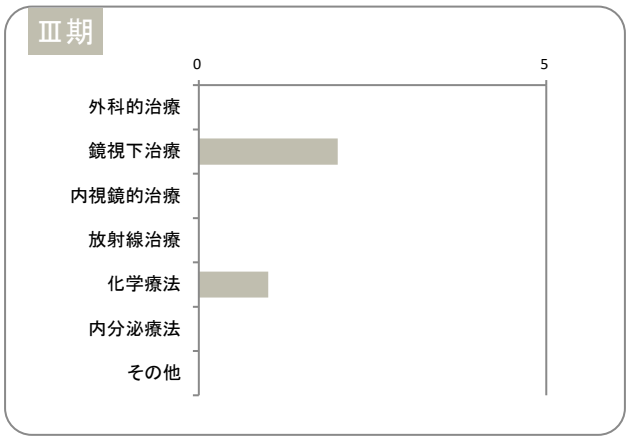
8-3. 部位別：肝臓②

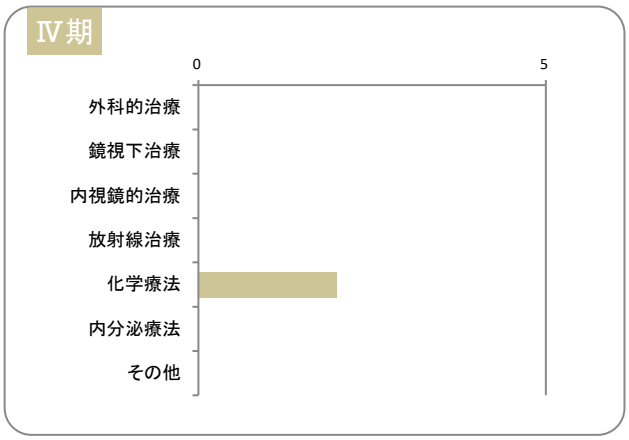
11. UICC TNM総合ステージ別 治療の件数 ＜症例区分20･30（初回治療施行症例）、癌腫のみ＞

＊件数は延べ件数。例えば、外科的治療と化学療法を組み合わせて行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。









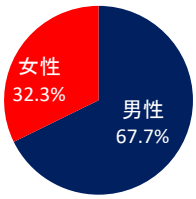
2022年	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
手術のみ	1～3	1～3	1～3	0
内視鏡のみ	0	0	0	0
手術+内視鏡	0	0	0	0
放射線のみ	0	0	0	0
薬物療法のみ	1～3	1～3	1～3	1～3
放射線+薬物	0	0	0	0
薬物+その他	4～6	0	0	0
手術/内視鏡+放射線	0	0	0	0
手術/内視鏡+薬物	0	0	0	0
手術/内視鏡+その他	0	0	0	0
手術/内視鏡+放射線+薬物	0	0	0	0
その他の組合せ	0	0	0	0
治療なし	0	0	1～3	1～3

＊当院で施行された治療のみの集計です。当院を受診される前後に他施設で行われた手術や化学療法はカウントされていません。

8-4. 部位別：肺①

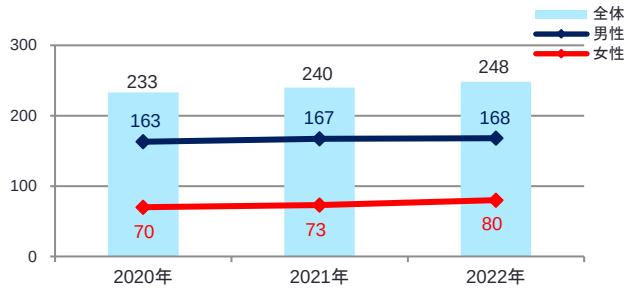
1. 登録数と男女割合

	登録数
男性	168
女性	80



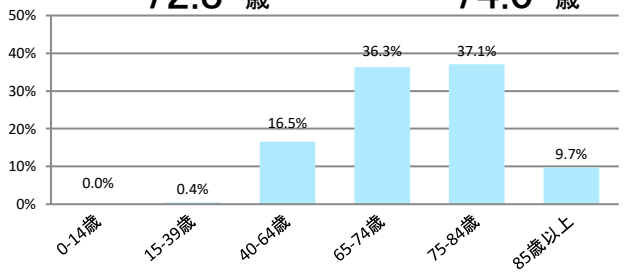
当院全登録数に占める肺癌の割合　15.0%

2. 登録数の年次推移



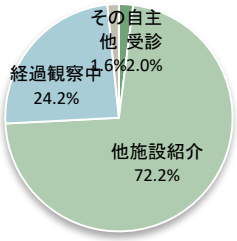
3. 年齢

平均 72.8 歳　中央値 74.0 歳

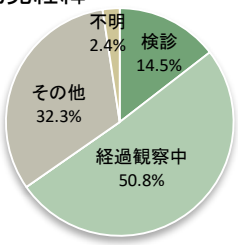


4. 来院経路と発見経緯

来院経路



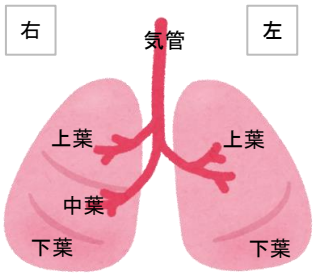
発見経緯

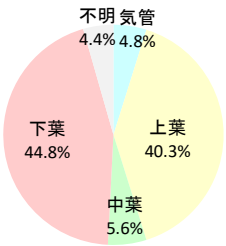


5. 詳細部位別登録数

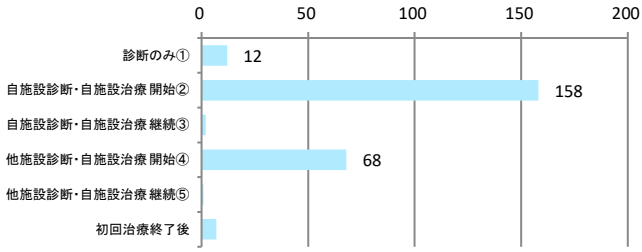
局在コード	部　位　名	登録数
C339	気管	0
C340	主気管支	12
C341	上葉・肺尖部	100
C342	中葉	14
C343	下葉	111
C348	肺の境界部病巣	0
C349	肺（詳細不明）	11

小細胞肺癌	17	件
	6.9%	
非小細胞肺癌	231	件
	93.1%	





6. 症例区分



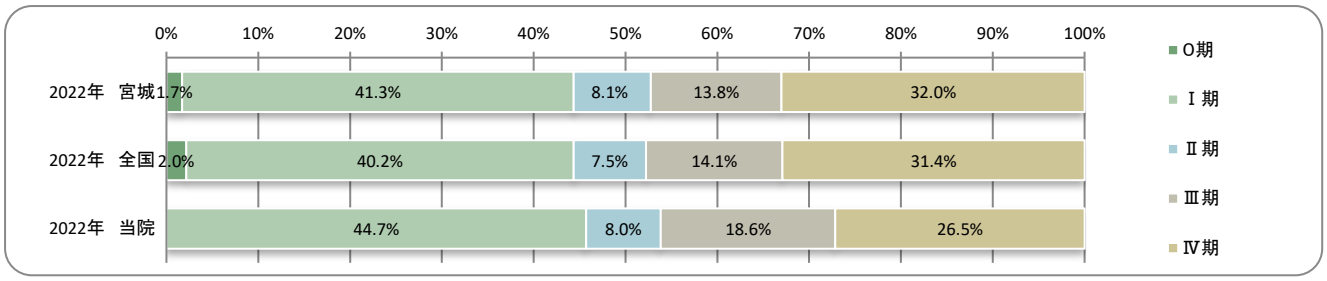
	登録数	割合
自施設責任症例 （自施設で初回治療が実施された症例） ②+③+④+⑤	229	92.3%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	172	69.4%

8-4. 部位別：肺②

7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 ＜症例区分20･30（初回治療施行症例）、癌腫のみ＞

2022年	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
件数	0	101	18	42	60
割合	0.0%	44.7%	8.0%	18.6%	26.5%

*ステージ不明除く

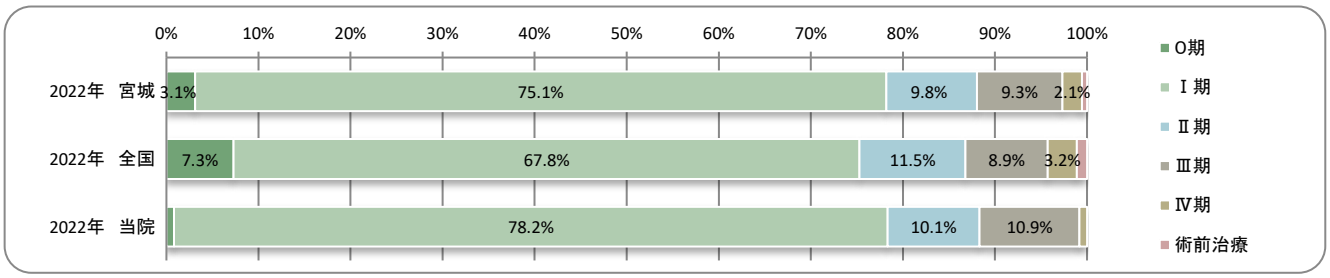


*件数が10件以下のステージの割合は、非表示としています。

8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 ＜症例区分20･30（初回治療施行症例）、癌腫のみ、手術なし除く＞

2022年	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	術前治療後
件数	1～3	93	12	13	1～3	0
割合	--	78.2%	10.1%	10.9%	--	0.0%

*ステージ不明除く

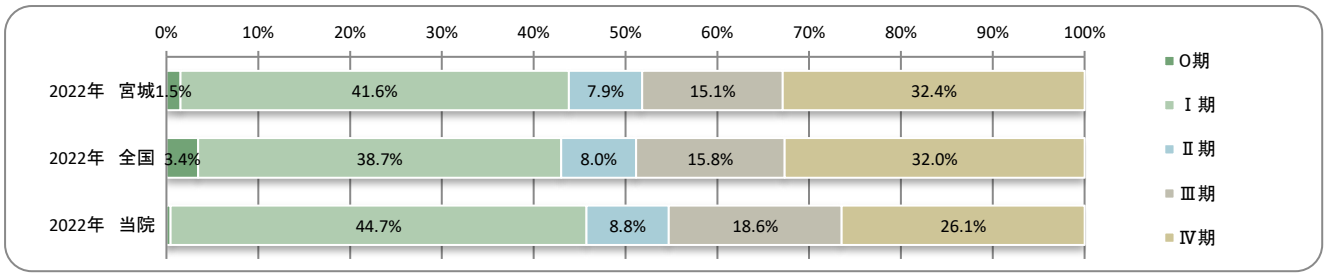


*件数が10件以下のステージの割合は、非表示としています。

9. UICC TNM 総合ステージ ＜症例区分20･30（初回治療施行症例）、癌腫のみ＞

2022年	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
件数	1～3	101	20	42	59
割合	--	44.7%	8.8%	18.6%	26.1%

*ステージ不明除く

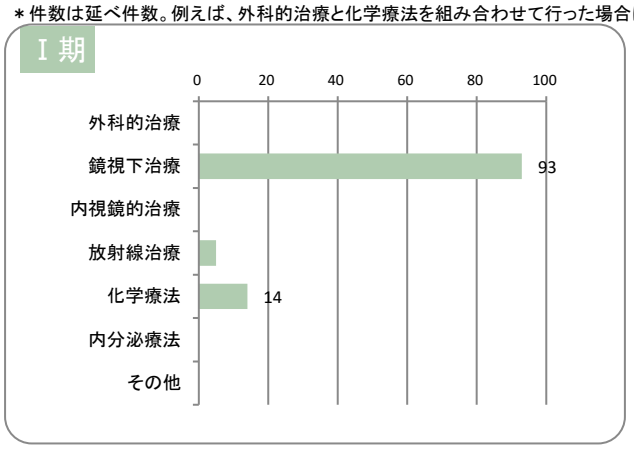


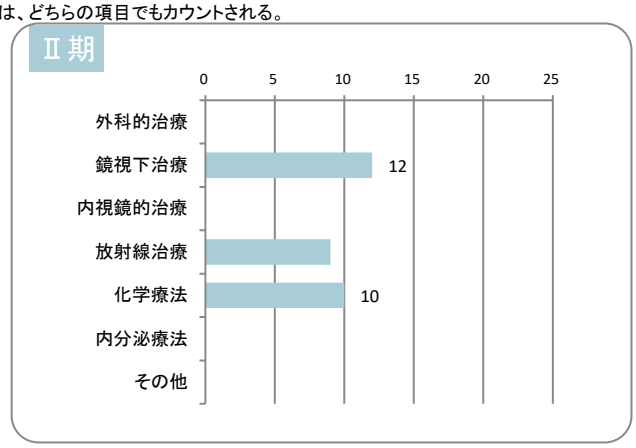
*件数が10件以下のステージの割合は、非表示としています。

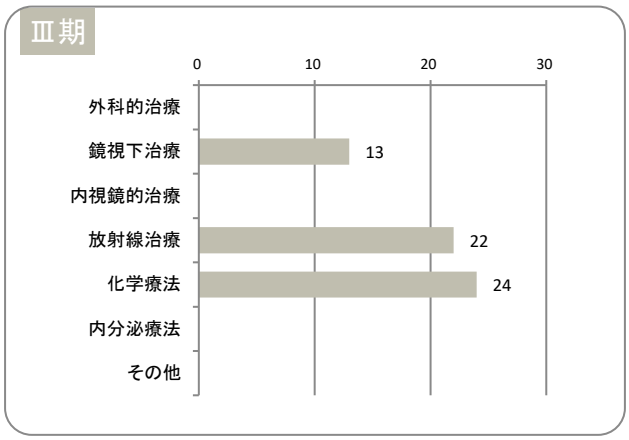
8-4. 部位別：肺③

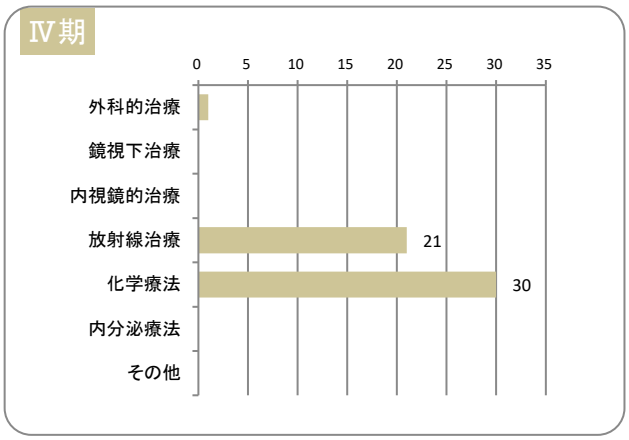
10. UICC TNM総合ステージ別 治療の件数

＊件数は延べ件数。例えば、外科的治療と化学療法を組み合わせて行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。









2022年	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
手術のみ	1～3	79	4～6	4～6	0
内視鏡のみ	0	0	0	0	0
手術+内視鏡	0	0	0	0	0
放射線のみ	0	4～6	4～6	7～9	7～9
薬物療法のみ	0	0	0	4～6	17
放射線+薬物	0	0	1～3	12	13
薬物+その他	0	0	0	0	0
手術/内視鏡+放射線	0	0	0	1～3	1～3
手術/内視鏡+薬物	0	14	4～6	7～9	0
手術/内視鏡+その他	0	0	0	0	0
手術/内視鏡+放射線+薬物	0	0	1～3	0	0
その他の組合せ	0	0	0	0	0
治療なし	0	1～3	1～3	1～3	21

＊当院で施行された治療のみの集計です。当院を受診される前後に他施設で行われた手術や化学療法はカウントされていません。

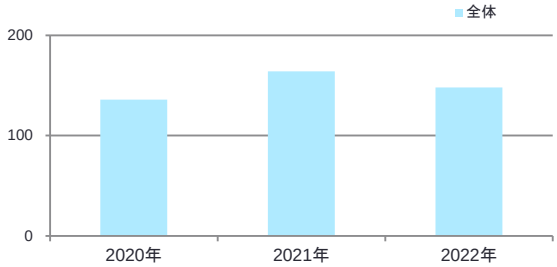
8-5. 部位別：乳房①

1. 登録数と男女割合

	登録数
男性	0
女性	148

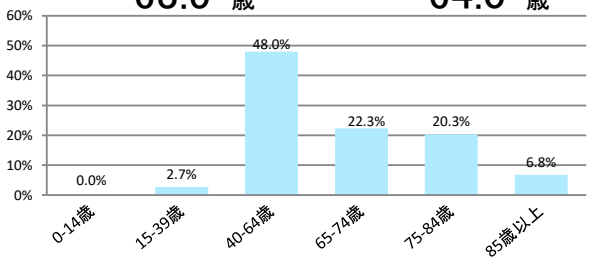
当院全登録数に占める乳癌の割合　8.9%

2. 登録数の年次推移



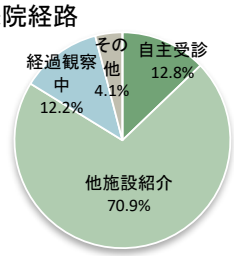
3. 年齢

平均 63.5 歳　中央値 64.0 歳

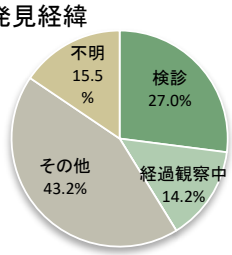


4. 来院経路と発見経緯

来院経路

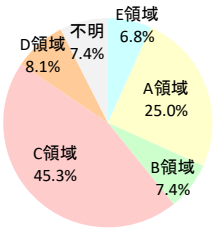


発見経緯

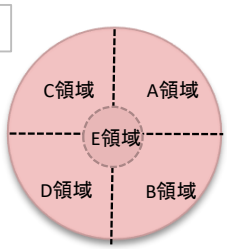


5. 詳細部位別登録数

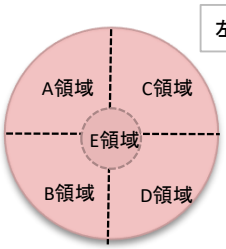
局在コード	部　位　名	登録数
C500	E'(乳頭部)領域	1～3
C501	E(乳輪部)領域	7～9
C502	A領域	37
C503	B領域	11
C504	C領域	67
C505	D領域	12
C506	C'領域	0
C508	境界部病巣	0
C509	乳房(詳細不明)	11



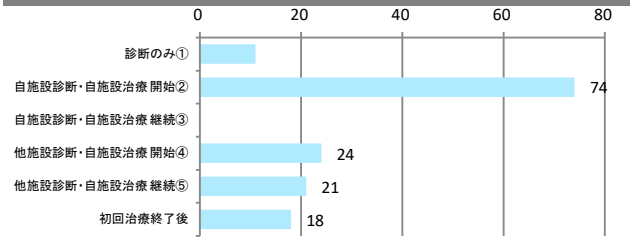
右



左



6. 症例区分



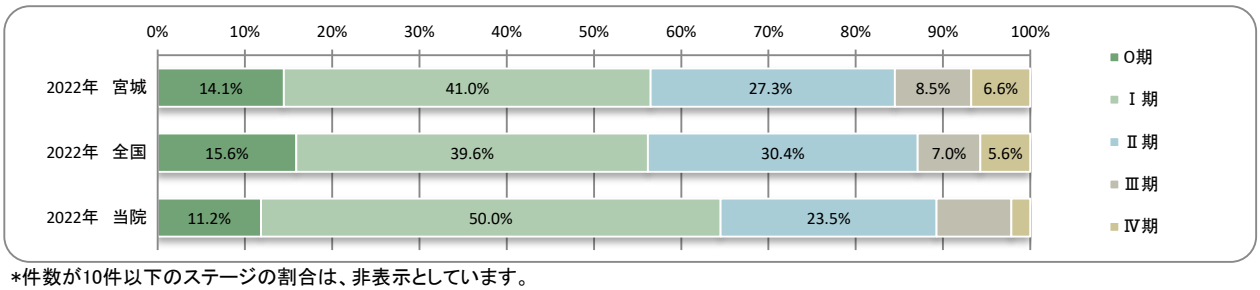
	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	119	80.4%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	85	57.4%

8-5. 部位別：乳房②

7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 ＜症例区分20･30（初回治療施行症例）、癌腫のみ＞

2022年	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
件数	11	49	23	7～9	1～3
割合	11.2%	50.0%	23.5%	--	--

*ステージ不明除く

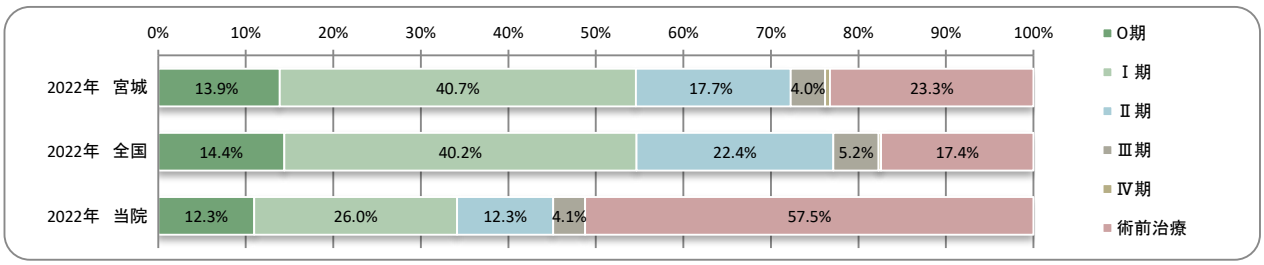


*件数が10件以下のステージの割合は、非表示としています。

8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 ＜症例区分20･30（初回治療施行症例）、癌腫のみ、手術なし除く＞

2022年	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	術前治療後
件数	7～9	19	7～9	1～3	0	42
割合	--	26.0%	--	--	0.0%	57.5%

*ステージ不明除く

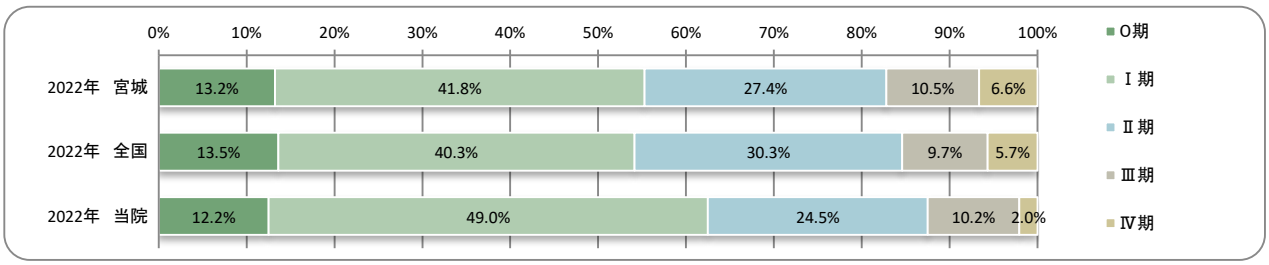


*件数が10件以下のステージの割合は、非表示としています。

9. UICC TNM 総合ステージ ＜症例区分20･30（初回治療施行症例）、癌腫のみ＞

2022年	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
件数	12	48	24	10	1～3
割合	12.2%	49.0%	24.5%	10.2%	--

*ステージ不明除く

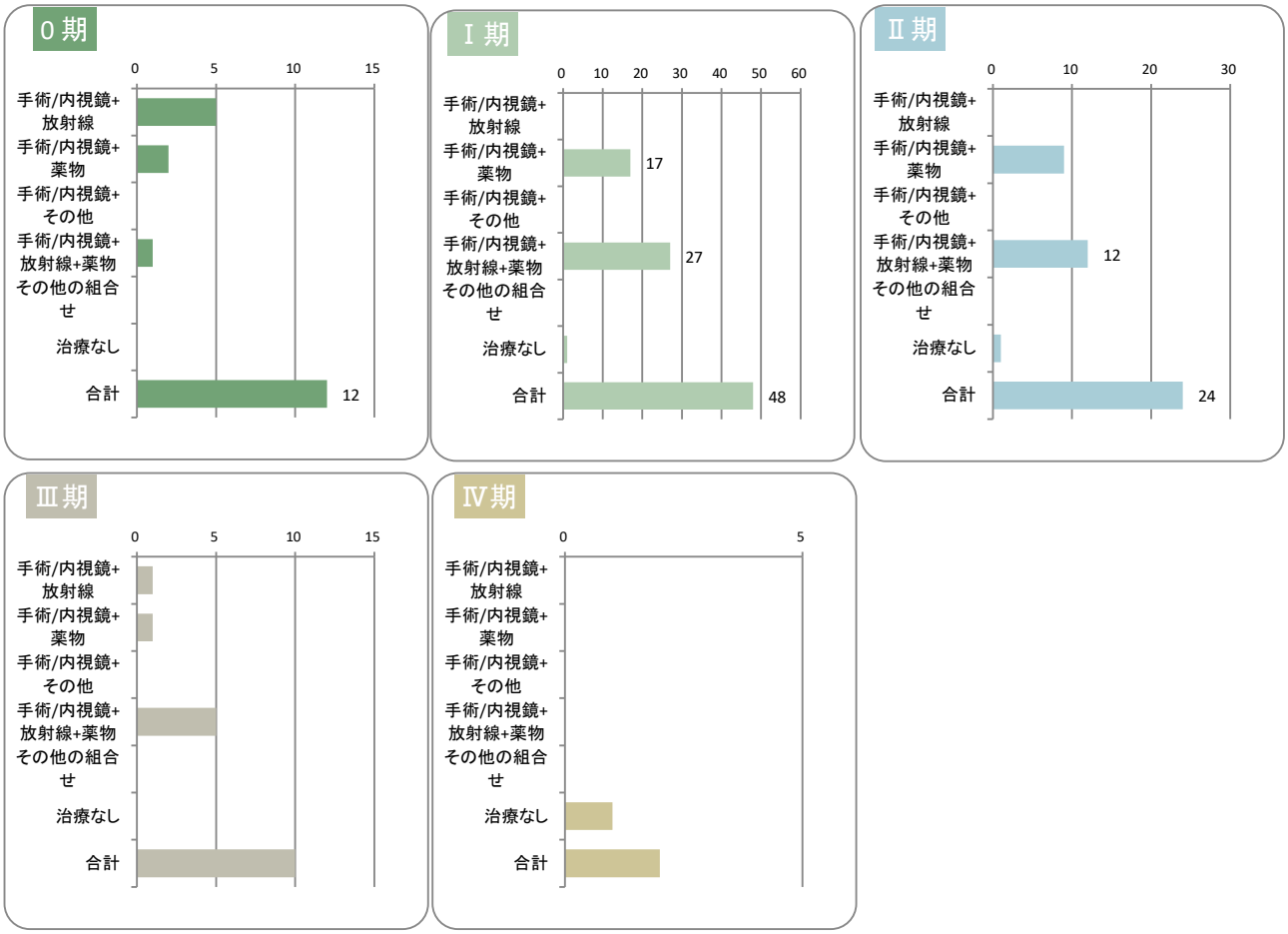


*件数が10件以下のステージの割合は、非表示としています。

8-5. 部位別：乳房③

10. UICC TNM総合ステージ別 治療の件数 ＜症例区分20･30（初回治療施行症例）、癌腫のみ＞

＊件数は延べ件数。例えば、外科的治療と化学療法を組み合わせて行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



2022年	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
手術のみ	1～3	0	0	0	0
内視鏡のみ	0	0	0	0	0
手術+内視鏡	0	0	0	0	0
放射線のみ	0	0	0	0	0
薬物療法のみ	1～3	1～3	1～3	1～3	1～3
放射線+薬物	0	0	0	0	0
薬物+その他	0	0	0	0	0
手術/内視鏡+放射線	4～6	0	0	1～3	0
手術/内視鏡+薬物	1～3	17	7～9	1～3	0
手術/内視鏡+その他	0	0	0	0	0
手術/内視鏡+放射線+薬物	1～3	27	12	4～6	0
その他の組合せ	0	0	0	0	0
治療なし	0	1～3	1～3	0	1～3

＊当院で施行された治療のみの集計です。当院を受診される前後に他施設で行われた手術や化学療法はカウントされていません。

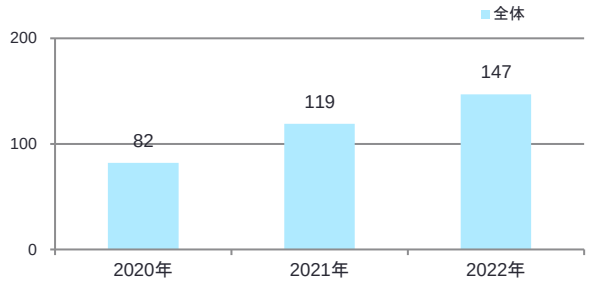
8-6. 部位別：前立腺①

1. 登録数と男女割合

	登録数
男性	147

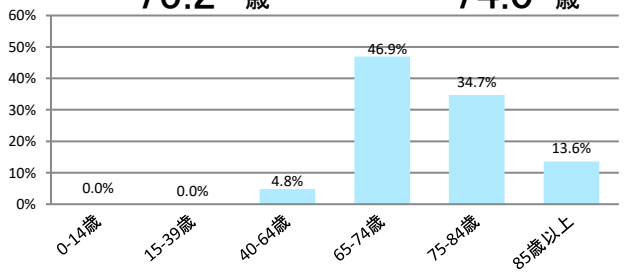
当院全登録数に占める前立腺癌の割合 8.9%

2. 登録数の年次推移



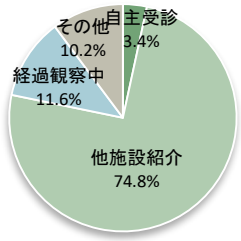
3. 年齢

平均 75.2 歳　中央値 74.0 歳

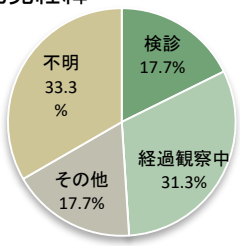


4. 来院経路と発見経緯

来院経路



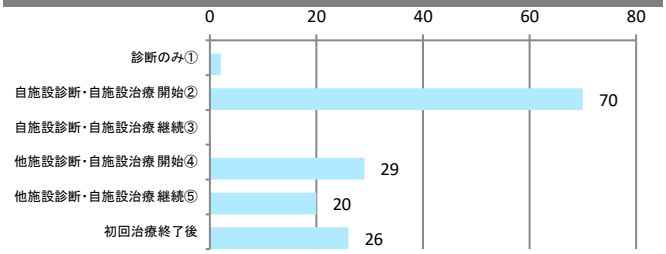
発見経緯



5. 詳細部位別登録数

局在コード	部　位　名	登録数
C61.9	前立腺	147

6. 症例区分



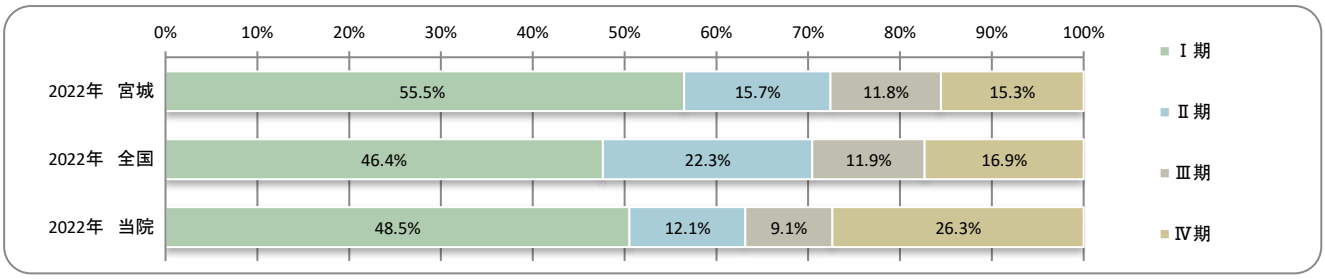
	登録数	割合
自施設責任症例 （自施設で初回治療が実施された症例） ②+③+④+⑤	119	81.0%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	72	49.0%

8-6. 部位別：前立腺②

7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 ＜症例区分20･30（初回治療施行症例）、癌腫のみ＞

2022年	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
件数	48	12	7～9	26
割合	48.5%	12.1%	--	26.3%

*ステージ不明除く

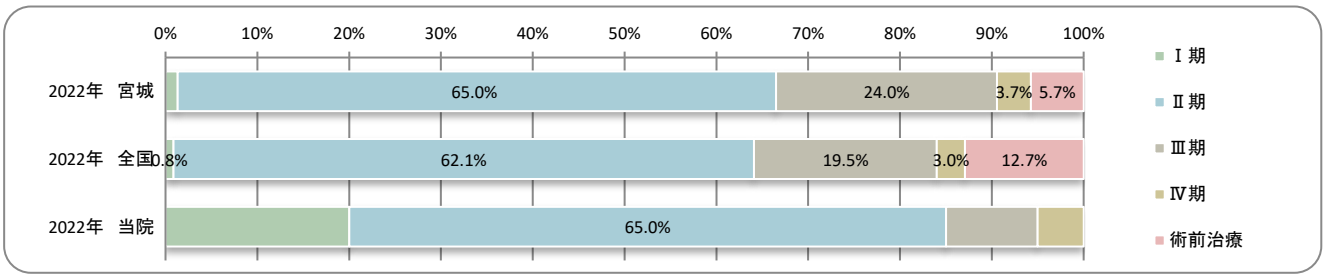


*件数が10件以下のステージの割合は、非表示としています。

8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 ＜症例区分20･30（初回治療施行症例）、癌腫のみ、手術なし除く＞

2022年	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	術前治療後
件数	4～6	13	1～3	1～3	0
割合	--	20.0%	--	--	0.0%

*ステージ不明除く

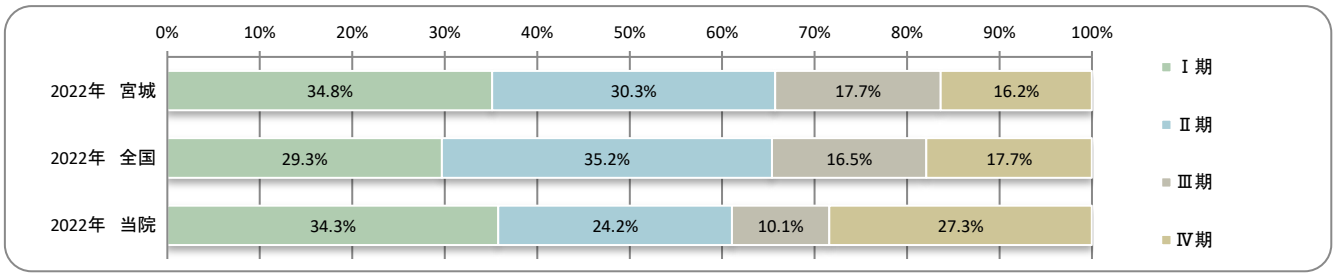


*件数が10件以下のステージの割合は、非表示としています。

9. UICC TNM 総合ステージ ＜症例区分20･30（初回治療施行症例）、癌腫のみ＞

2022年	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
件数	34	24	10	27
割合	34.3%	24.2%	10.1%	27.3%

*ステージ不明除く

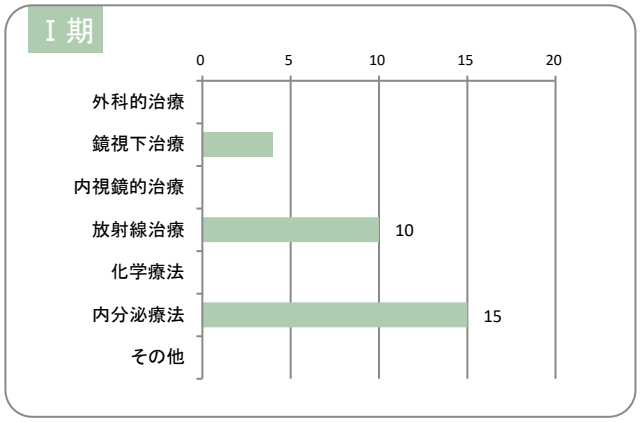


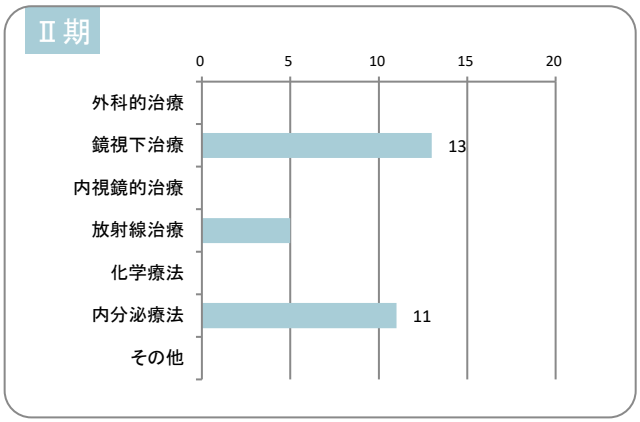
*件数が10件以下のステージの割合は、非表示としています。

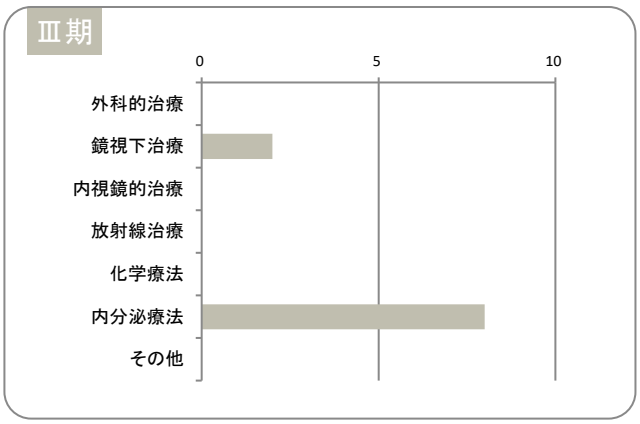
8-6. 部位別：前立腺③

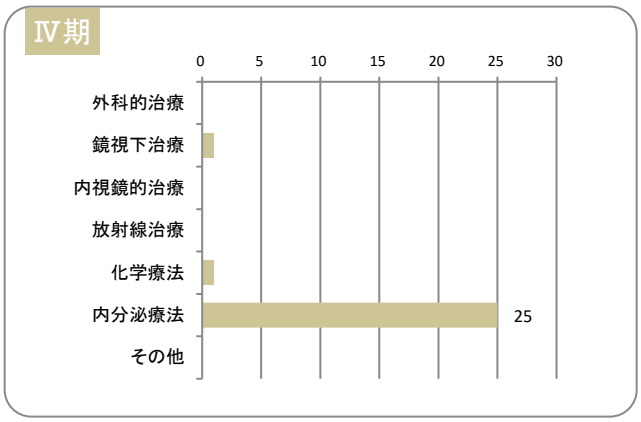
10. UICC TNM総合ステージ別 治療の件数 ＜症例区分20･30（初回治療施行症例）、癌腫のみ＞

＊件数は延べ件数。例えば、外科的治療と化学療法を組み合わせて行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。









2022年	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
手術のみ	4～6	13	1～3	1～3
内視鏡のみ	0	0	0	0
手術+内視鏡	0	0	0	0
放射線のみ	7～9	0	0	0
薬物療法のみ	12	4～6	7～9	25
放射線+薬物	1～3	4～6	0	0
薬物+その他	0	0	0	0
手術/内視鏡+放射線	0	0	0	0
手術/内視鏡+薬物	0	0	0	0
手術/内視鏡+その他	0	0	0	0
手術/内視鏡+放射線+薬物	0	0	0	0
その他の組合せ	0	0	0	0
治療なし	7～9	0	0	1～3

＊当院で施行された治療のみの集計です。当院を受診される前後に他施設で行われた手術や化学療法はカウントされていません。

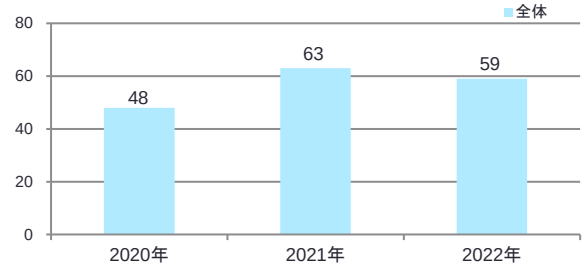
8-7. 部位別：子宮（頸部・体部）

1. 登録数と男女割合

	登録数
女性	59

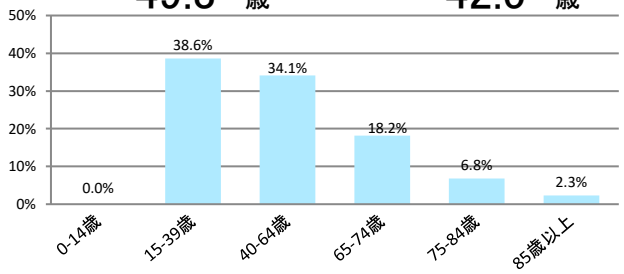
当院全登録数に占める子宮癌の割合 3.6%

2. 登録数の年次推移



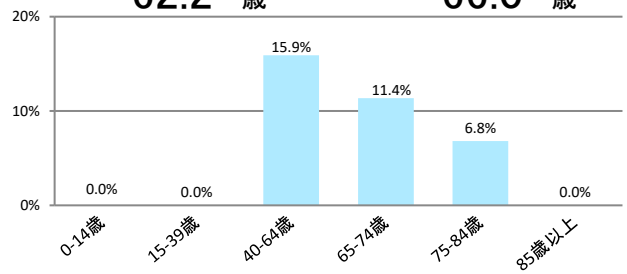
3-1. 年齢：子宮頸部

平均 49.3 歳　中央値 42.5 歳



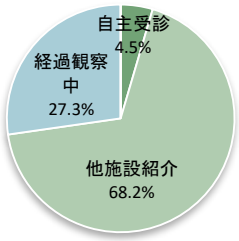
3-2. 年齢：子宮体部

平均 62.2 歳　中央値 66.0 歳

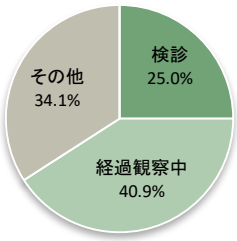


4-1. 来院経路と発見経緯：子宮頸部

来院経路

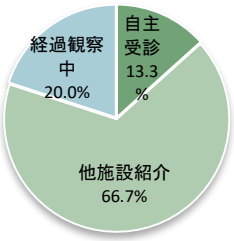


発見経緯

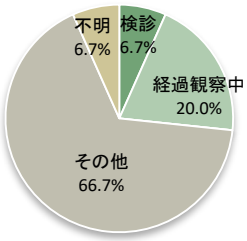


4-2. 来院経路と発見経緯：子宮体部

来院経路



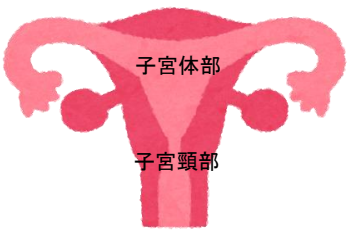
発見経緯

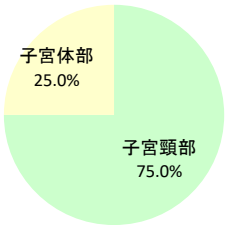


5. 詳細部位別登録数

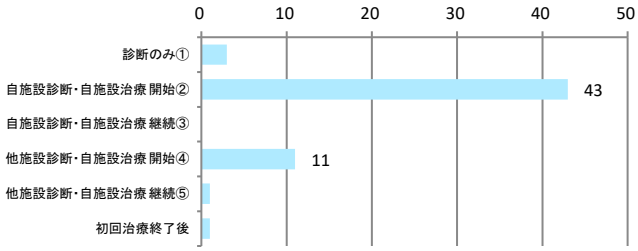
局在	部位名	登録数
C539	子宮頸部	45
C540	子宮峡部	0
C541	子宮内膜	14
C542	子宮筋層	0
C543	子宮底部	0
C549	体部（詳細不明）	1～3
C559	子宮（詳細不明）	0

*子宮頸癌には「CIN3（子宮頸部高度異形成）」が含まれています。





6. 症例区分



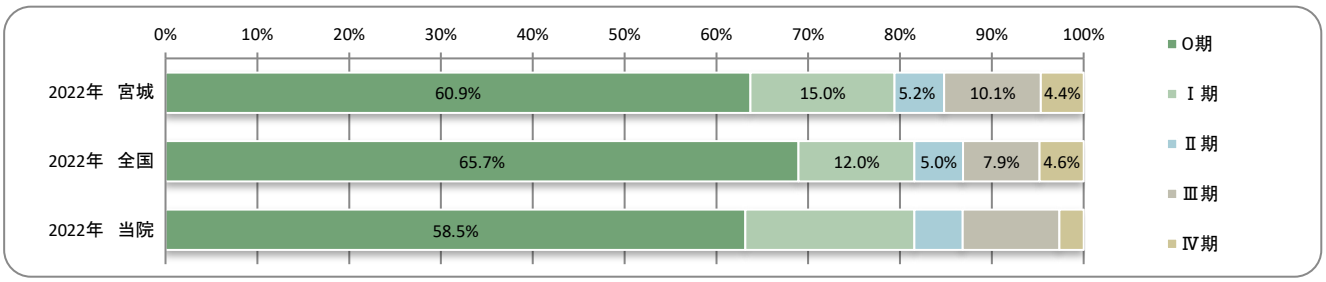
	登録数	割合
自施設責任症例（自施設で初回治療が実施された症例）②+③+④+⑤	55	93.2%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	46	78.0%

8-5. 部位別：子宮頸部①

7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 ＜症例区分20・30（初回治療施行症例）、癌腫のみ＞

2022年	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
件数	24	7～9	1～3	4～6	1～3
割合	58.5%	--	--	--	--

*ステージ不明除く

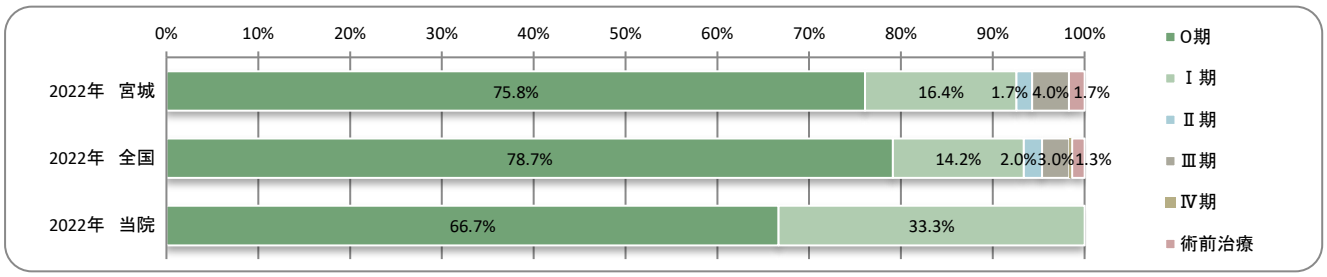


*件数が10件以下のステージの割合は、非表示としています。

8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 ＜症例区分20・30（初回治療施行症例）、癌腫のみ、手術なし除く＞

2022年	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	術前治療後
件数	22	11	0	0	0	0
割合	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

*ステージ不明除く

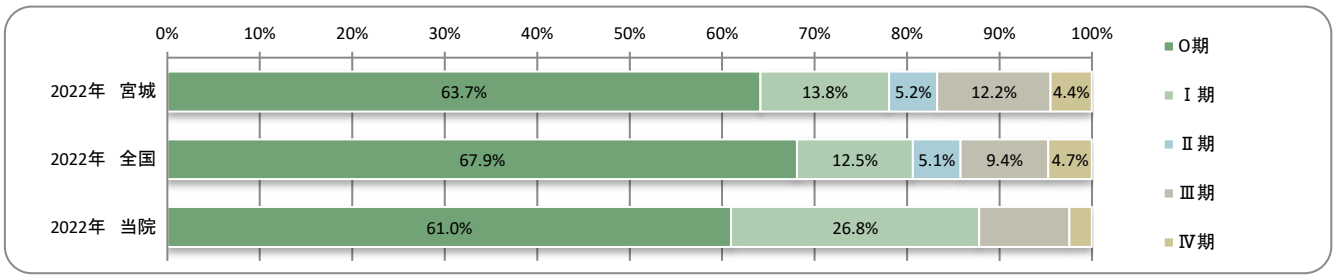


*件数が10件以下のステージの割合は、非表示としています。

9. UICC TNM 総合ステージ ＜症例区分20・30（初回治療施行症例）、癌腫のみ＞

2022年	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
件数	25	11	0	4～6	1～3
割合	61.0%	26.8%	0.0%	--	--

*ステージ不明除く

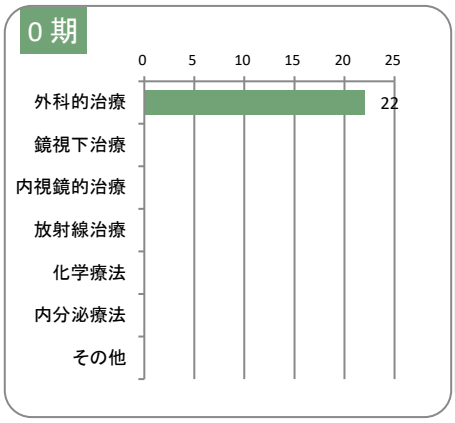


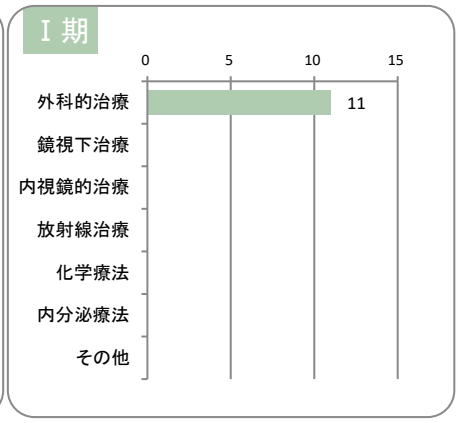
*件数が10件以下のステージの割合は、非表示としています。

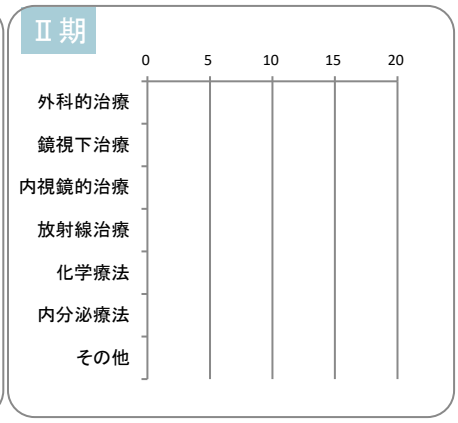
8-5. 部位別：子宮頸部②

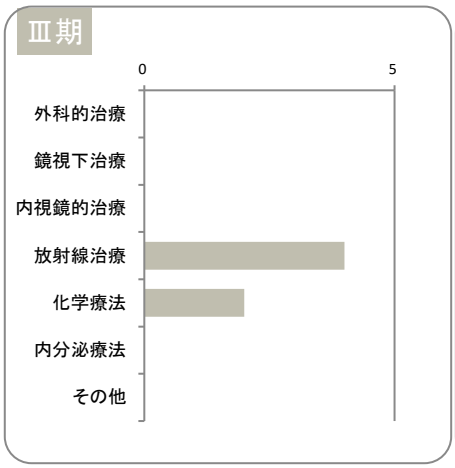
10. UICC TNM総合ステージ別 治療の件数 ＜症例区分20･30（初回治療施行症例）、癌腫のみ＞

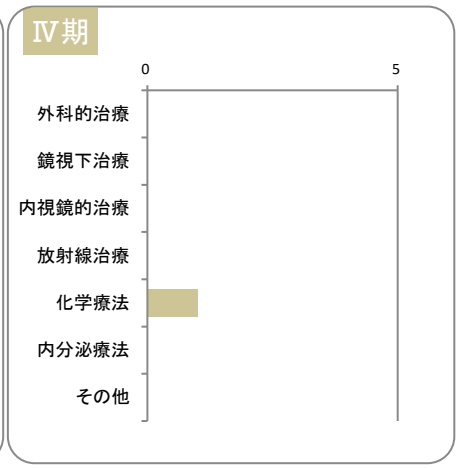
＊件数は延べ件数。例えば、外科的治療と化学療法を組み合わせて行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。











2022年	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
手術のみ	22	11	0	0	0
内視鏡のみ	0	0	0	0	0
手術+内視鏡	0	0	0	0	0
放射線のみ	0	0	0	1～3	0
薬物療法のみ	0	0	0	0	1～3
放射線+薬物	0	0	0	1～3	0
薬物+その他	0	0	0	0	0
手術/内視鏡+放射線	0	0	0	0	0
手術/内視鏡+薬物	0	0	0	0	0
手術/内視鏡+その他	0	0	0	0	0
手術/内視鏡+放射線+薬物	0	0	0	0	0
その他の組合せ	0	0	0	0	0
治療なし	1～3	0	0	0	0

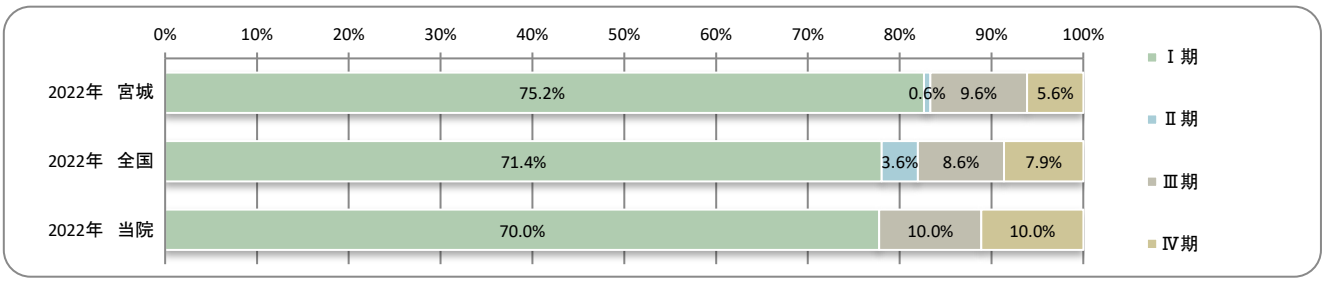
＊当院で施行された治療のみの集計です。当院を受診される前後に他施設で行われた手術や化学療法はカウントされていません。

8-5. 部位別：子宮体部①

7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 ＜症例区分20･30（初回治療施行症例）、癌腫のみ＞

2022年	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
件数	7～9	0	1～3	1～3
割合	--	0.0%	--	--

*ステージ不明除く

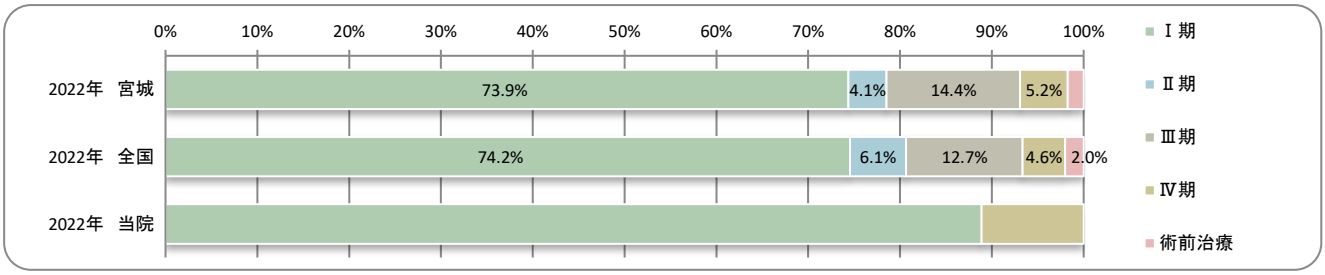


*件数が10件以下のステージの割合は、非表示としています。

8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 ＜症例区分20･30（初回治療施行症例）、癌腫のみ、手術なし除く＞

2022年	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	術前治療後
件数	7～9	0	0	1～3	0
割合	--	0.0%	0.0%	--	0.0%

*ステージ不明除く

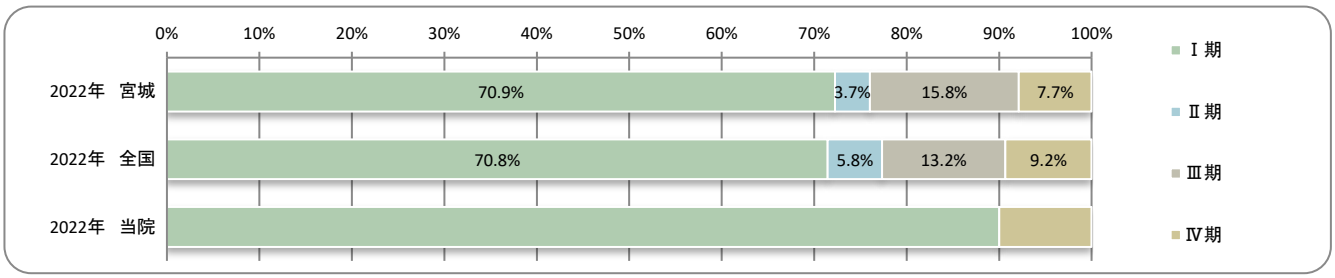


*件数が10件以下のステージの割合は、非表示としています。

9. UICC TNM 総合ステージ ＜症例区分20･30（初回治療施行症例）、癌腫のみ＞

2022年	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
件数	7～9	0	0	1～3
割合	--	0.0%	0.0%	--

*ステージ不明除く

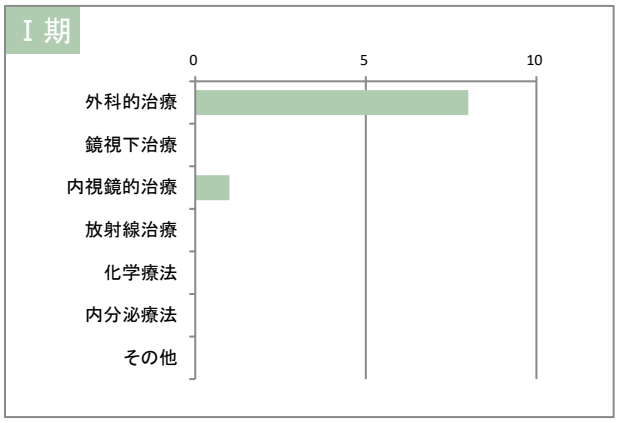


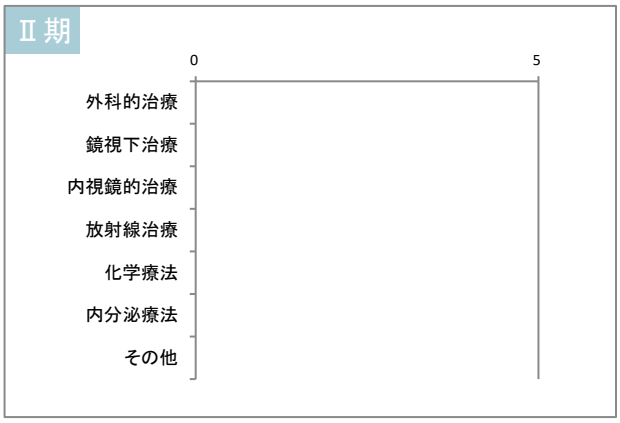
*件数が10件以下のステージの割合は、非表示としています。

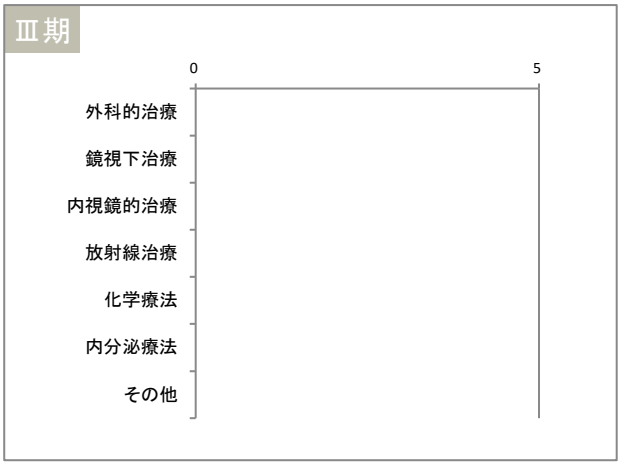
8-5. 部位別：子宮体部②

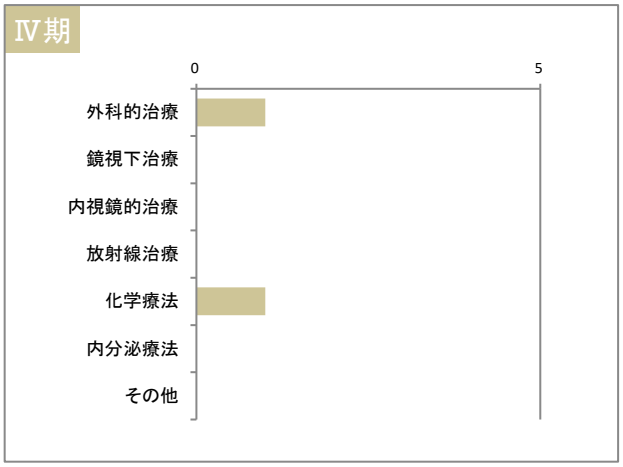
10. UICC TNM総合ステージ別 治療の件数 ＜症例区分20･30（初回治療施行症例）、癌腫のみ＞

＊件数は延べ件数。例えば、外科的治療と化学療法を組み合わせて行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。









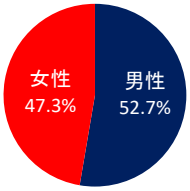
2022年	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
手術のみ	7～9	0	0	0
内視鏡のみ	0	0	0	0
手術+内視鏡	1～3	0	0	0
放射線のみ	0	0	0	0
薬物療法のみ	0	0	0	0
放射線+薬物	0	0	0	0
薬物+その他	0	0	0	0
手術/内視鏡+放射線	0	0	0	0
手術/内視鏡+薬物	0	0	0	1～3
手術/内視鏡+その他	0	0	0	0
手術/内視鏡+放射線+薬物	0	0	0	0
その他の組合せ	0	0	0	0
治療なし	1～3	0	0	0

＊当院で施行された治療のみの集計です。当院を受診される前後に他施設で行われた手術や化学療法はカウントされていません。

8-8. 部位別：血液腫瘍①

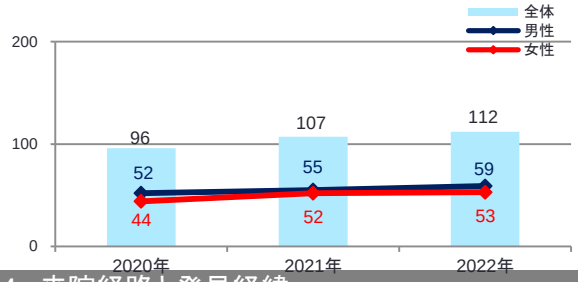
1. 登録数と男女割合

	登録数
男性	59
女性	53



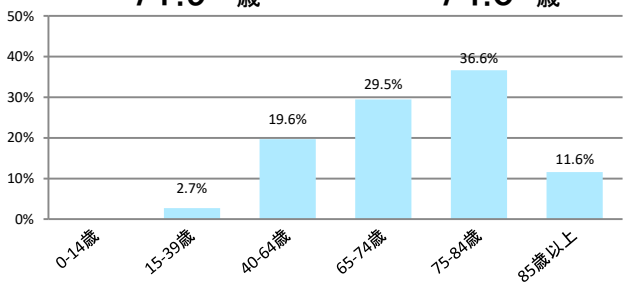
当院全登録数に占める血液腫瘍の割合 6.8%

2. 登録数の年次推移



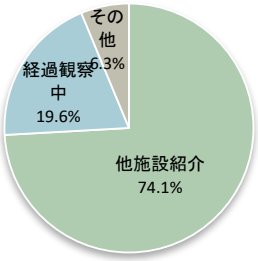
3. 年齢

平均 71.9 歳　中央値 74.0 歳

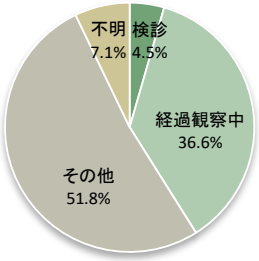


4. 来院経路と発見経緯

来院経路

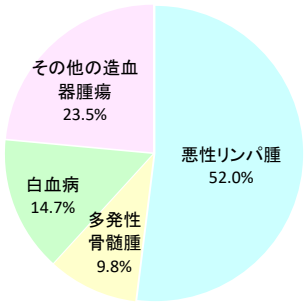


発見経緯

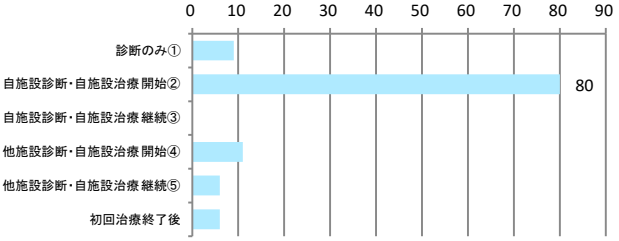


5. 詳細部位別登録数

			2020年		2021年		2022年	
			節性	節外性	節性	節外性	節性	節外性
悪性リンパ腫	成熟B細胞リンパ腫	びまん性大細胞性B細胞型リンパ腫	7～9	16	12	7～9	12	7～9
		濾胞性リンパ腫	4～6	1～3	7～9	4～6	7～9	4～6
		辺縁層B細胞性リンパ腫（MALT含む）	1～3	4～6	1～3	7～9	1～3	7～9
		成熟B細胞リンパ腫　他	0	1～3	0	1～3	0	1～3
	成熟T細胞及びNK細胞リンパ腫		0	4～6	0	4～6	0	4～6
	ホジキンリンパ腫		0	0	0	0	0	0
	悪性リンパ腫　他		0	4～6	0	4～6	0	4～6
多発性骨髄腫			4～6		7～9		10	
成人T細胞白血病/リンパ腫			1～3		0		1～3	
白血病	慢性骨髄性白血病		1～3		1～3		1～3	
	急性骨髄性白血病		13		7～9		7～9	
	慢性リンパ性白血病		0		1～3		1～3	
	急性リンパ性白血病		1～3		1～3		0	
	白血病　他		0		1～3		0	
その他の造血器腫瘍	骨髄異形成症候群		11		16		12	
	骨髄増殖性疾患（CML除く）		7～9		15		12	



6. 症例区分



	登録数	割合
自施設責任症例 （自施設で初回治療が実施された症例） ②+③+④+⑤	97	86.6%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	80	71.4%

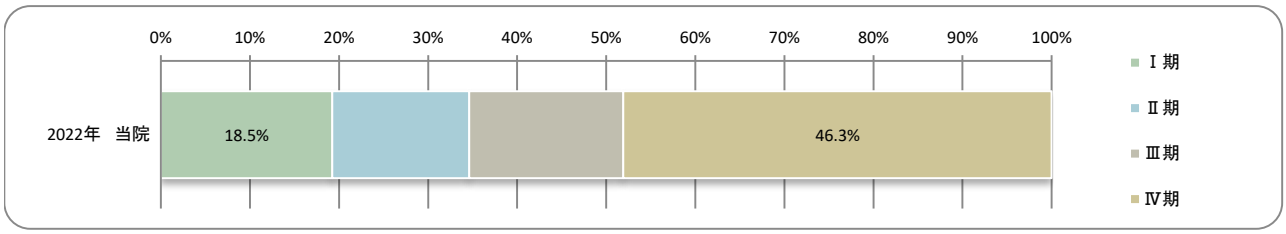
8-8. 部位別：血液腫瘍②

7. UICC TNM 治療前ステージ別登録

＜症例区分20･30（自施設初回治療施行症例）、悪性リンパ腫のみ＞

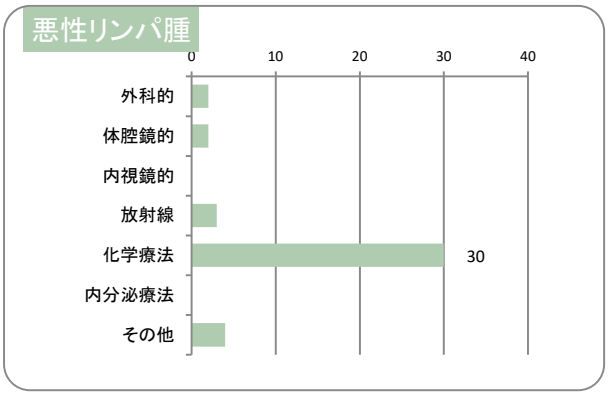
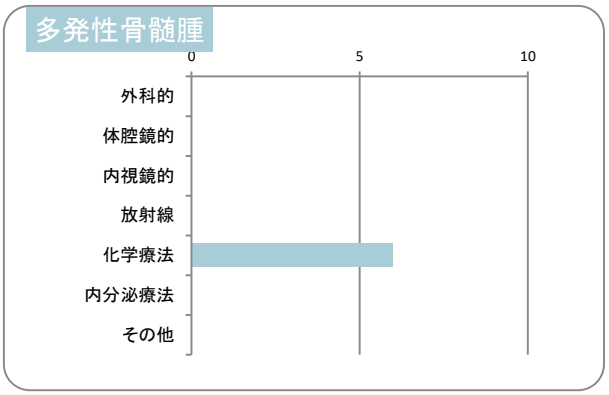
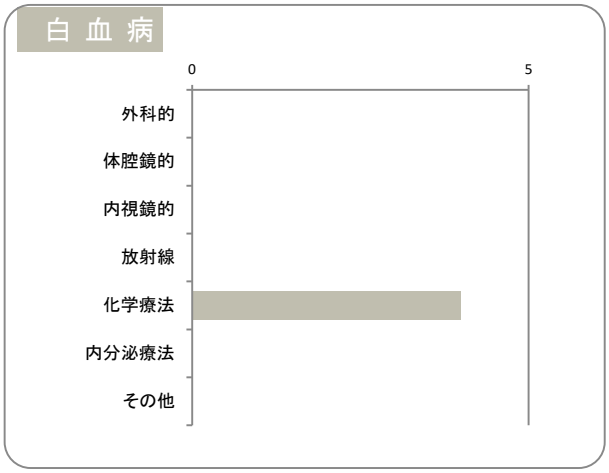
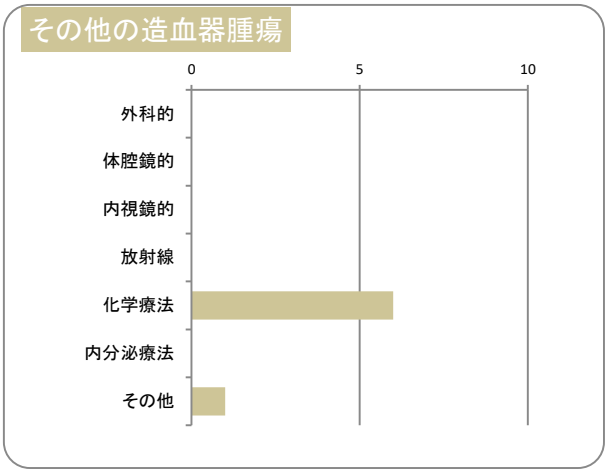
2022年	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
件数	10	7～9	7～9	25
割合	18.5%	--	--	46.3%

*ステージ不明除く



*件数が10件以下のステージの割合は、非表示としています。

8. 治療の件数

＜症例区分20･30（自施設初回治療施行症例）のみを集計＞

＊件数は延べ件数。例えば、外科的治療と化学療法を組み合わせて行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。